

無敵の ストッキング

作家メモリー

85P

無感覚ローリーは
どんな味だろう？

DOJIN
R18
成人向け

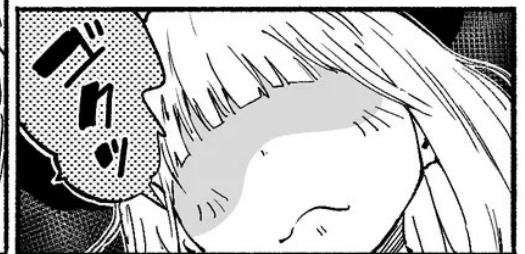
18歳未満の
購入・閲覧禁止





初夏のことだった





私を買って
くれませんか？

あまりにも
唐突な状況に
びつくりしたけど…

すぐ理性の紐を
掴んで
ちゃんと答えた

そんなの
ダメだよ…

また…
子供だから…

嫌なん
ですか？

そ、
そんなことは
ないけど…

ちよつと
待ってね？

あの…
何してるの？

トリトリと

これなら
どうでしょう!?

にあいあ



なんの音も
しなかったけど

ボクはバカみたいに
彼女の額にスキャナーを
持ち寄せた



本当に
ボクのものになった
気分だった

ご購入
ありがとうございます!
これでミミは
おじさんのもの
なの

おじさんの
名前は何?

BORDEE



坂梨...
坂梨朱二朗...

これがボクと
ミミちゃんの
初めての出会いで...

私はミミ!
10歳!
よろしくね!

本当に
熱いー

その日は
本当にー

初夏で
あった…

ほわ…

おおお…

ドキ

おお…

ドキ

ドキ



無敵

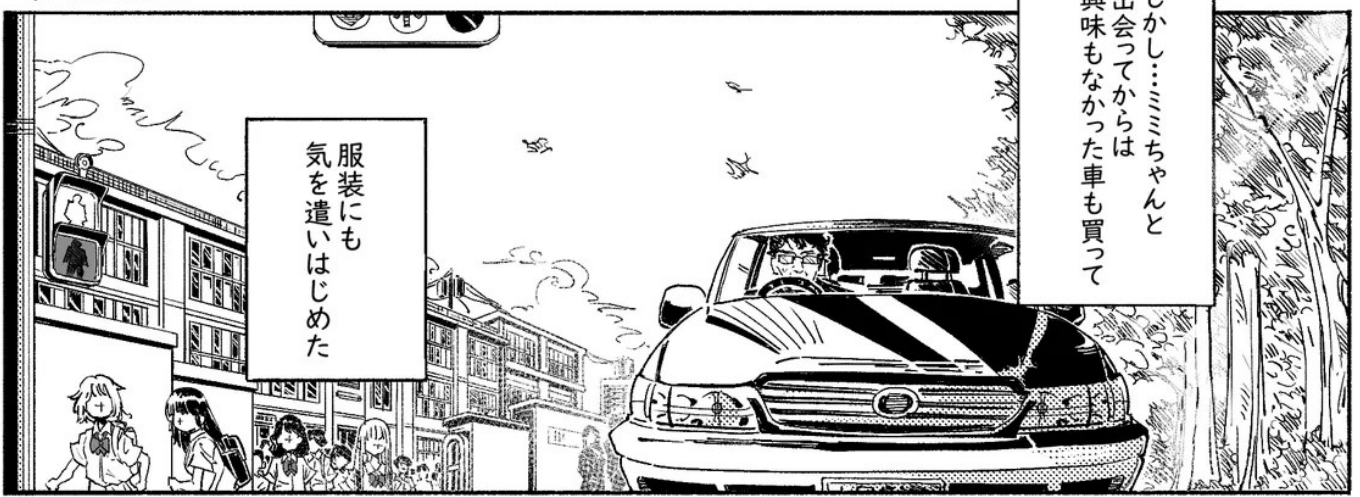
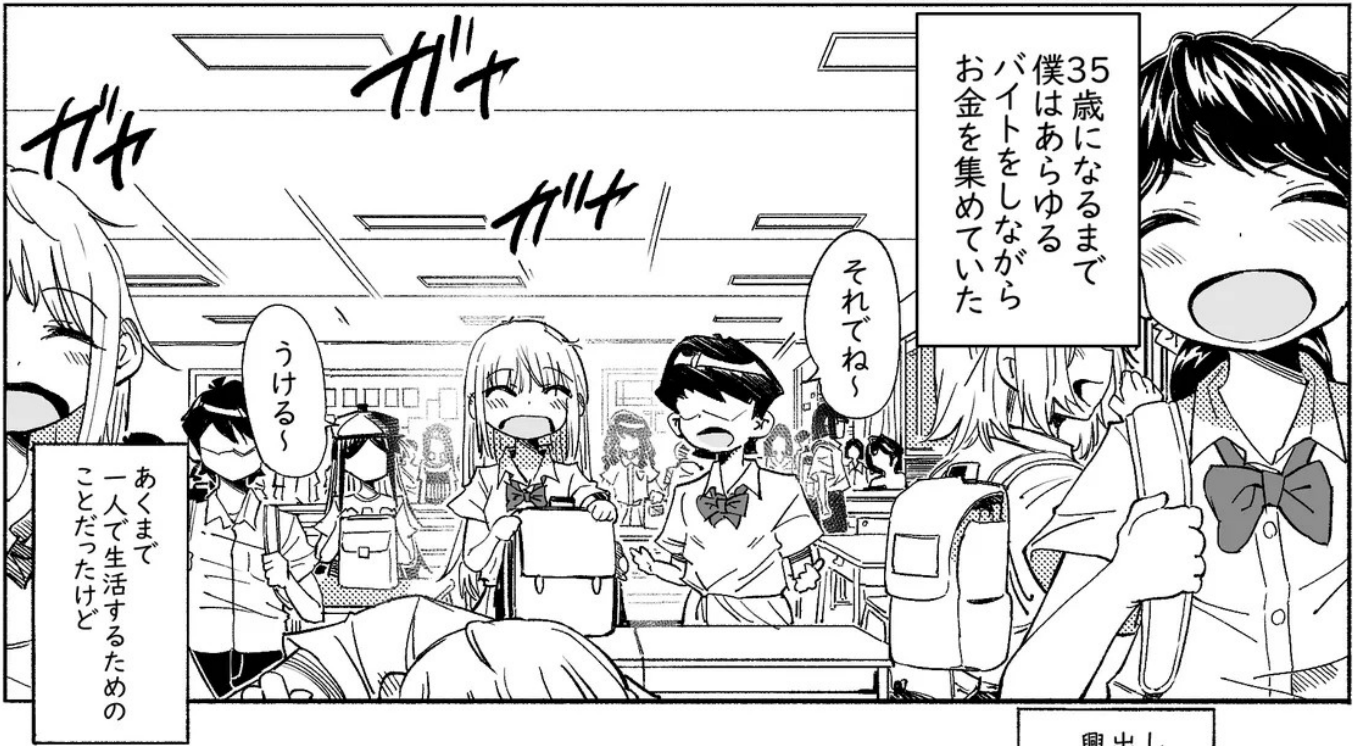
の

ストーム

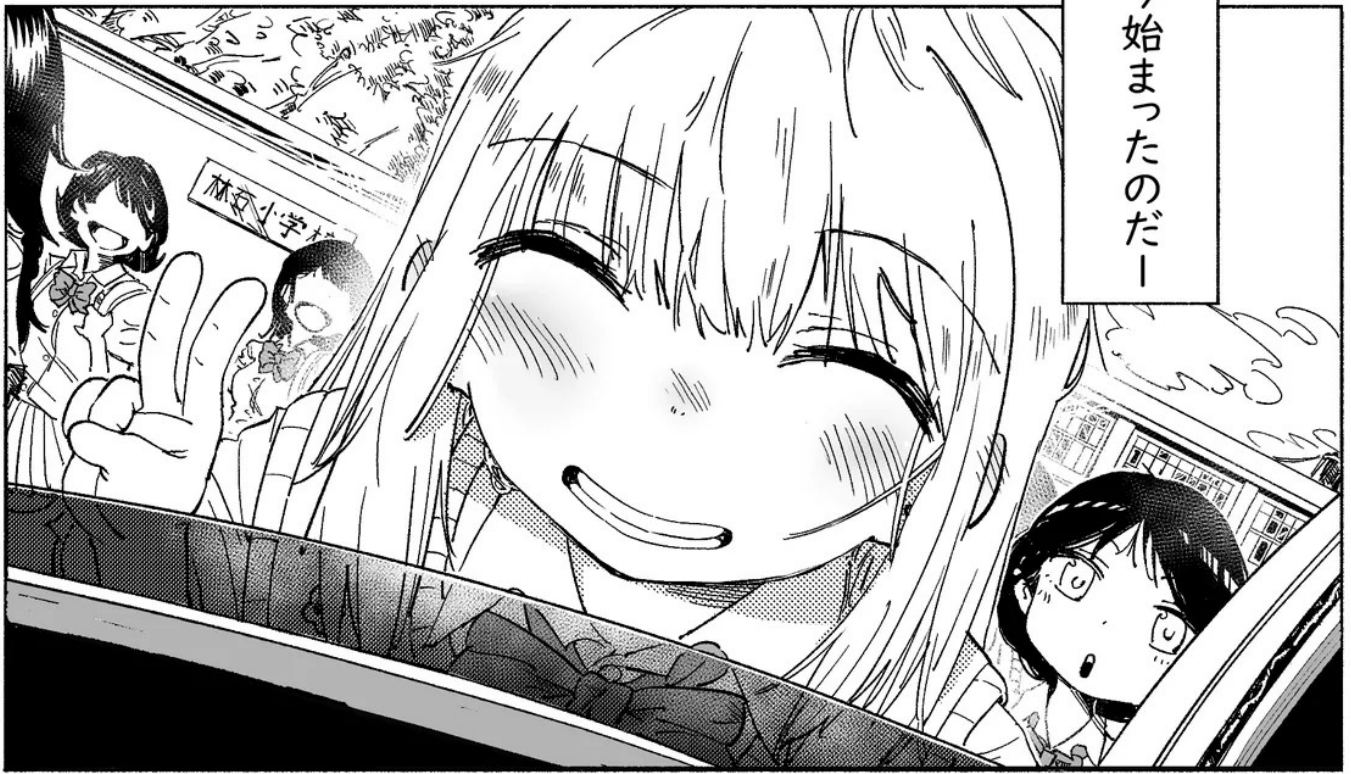
ツイン

キ

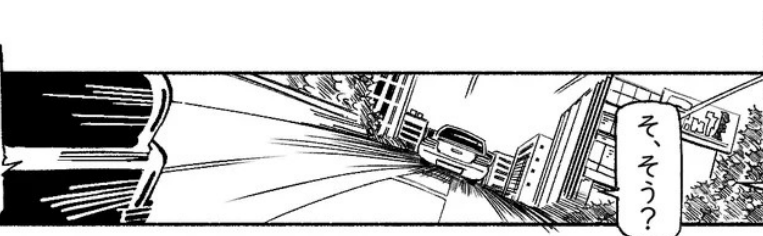
ン



今始まったのだー



うん！パパとママが
今日外勤で、
明日の夕方には
帰るんでって！



あ、そうだ！
お兄ちゃん、
私今日うちに
帰らなくても
大丈夫だよ！

そ、そう？

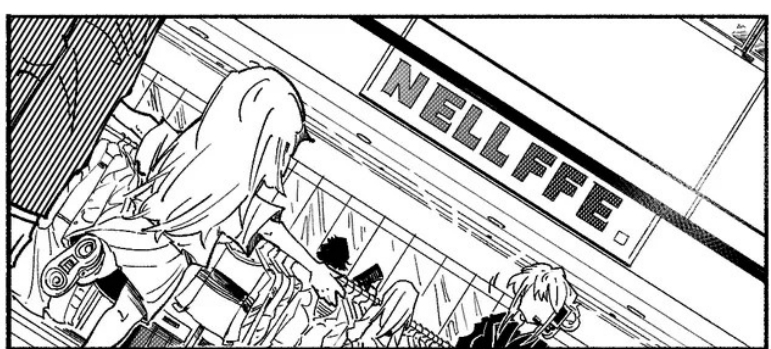


いらっしやいませ、
モール「ZM」「PM」に
ようこそ

うわー
超広い！

だろう？

僕も
こんなところは
初めてだよ、
けど…



ミミちゃんに
情けないところは
見せないな！



次の展開は
どうしたら
いいかな…？



お兄ちゃん
あっち
行ってみよう！

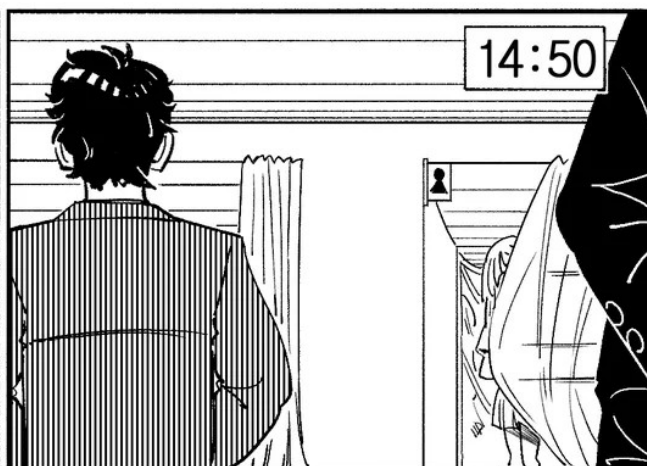
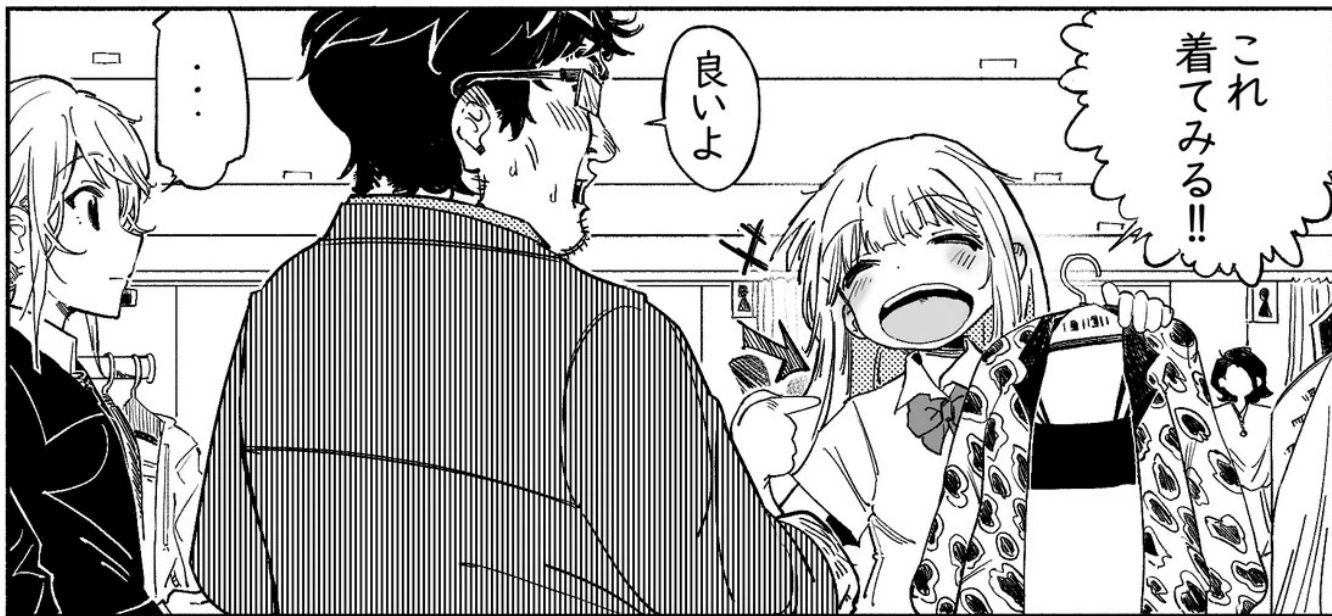
オッケー

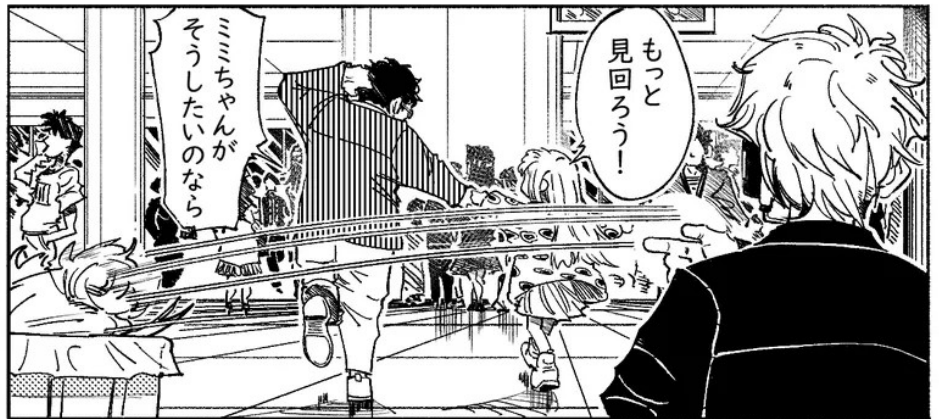


何か
お探しですか？

あ、あの…

お兄ちゃん
あれ！







そして今日はー



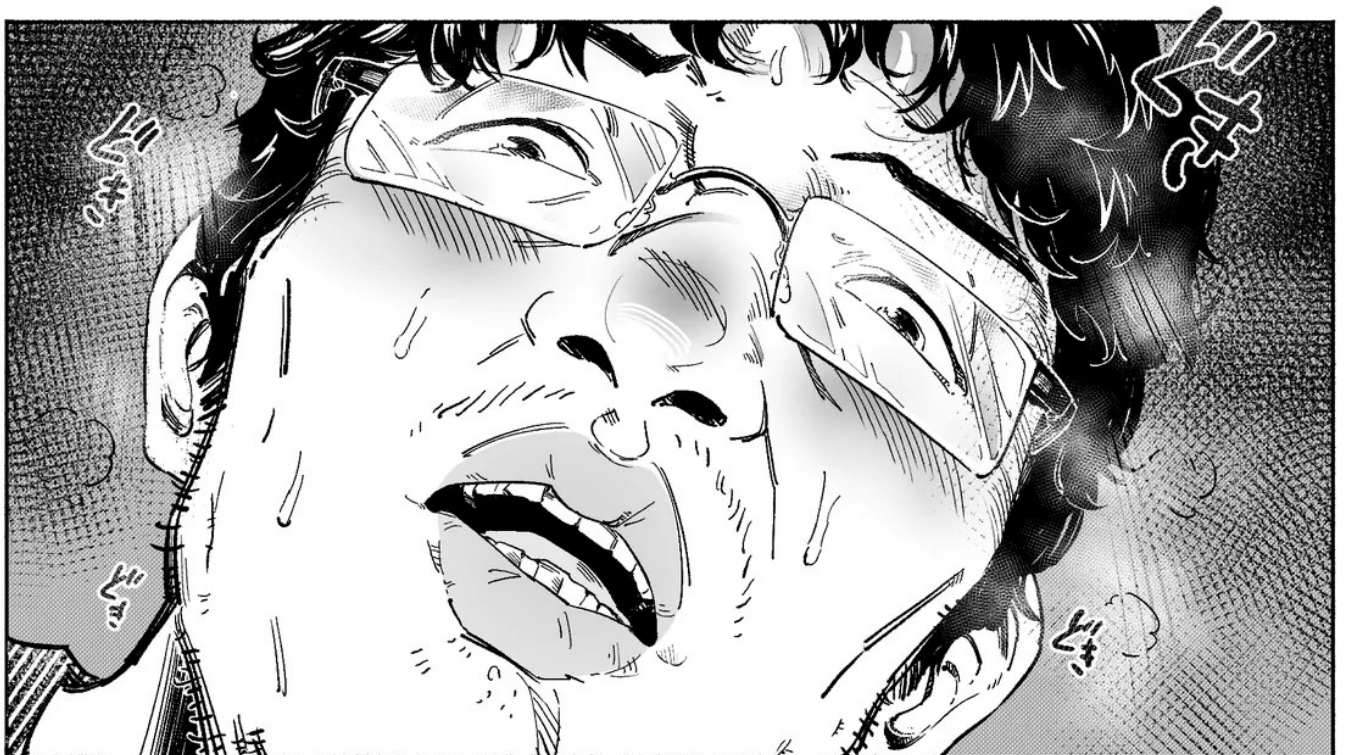
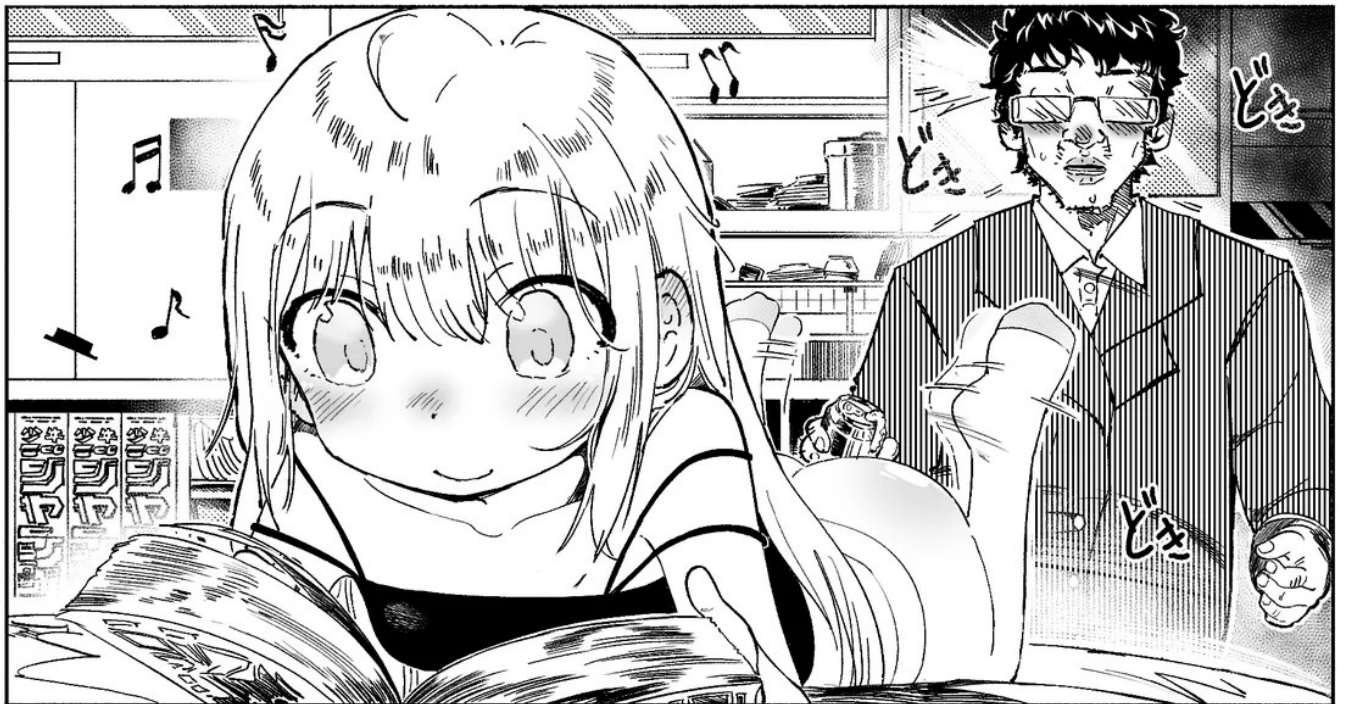
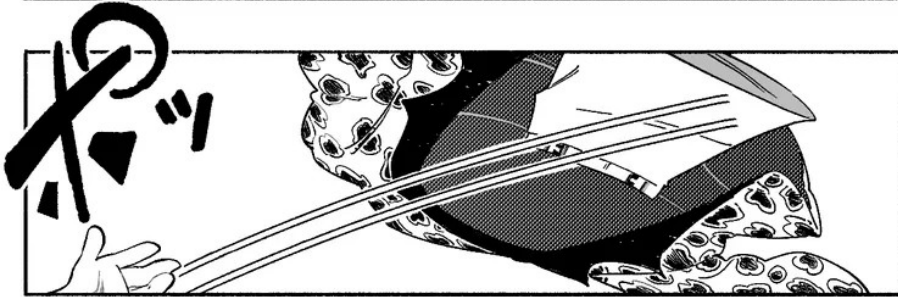
わあ！ここが
お兄ちゃんの家なの？
不思議！

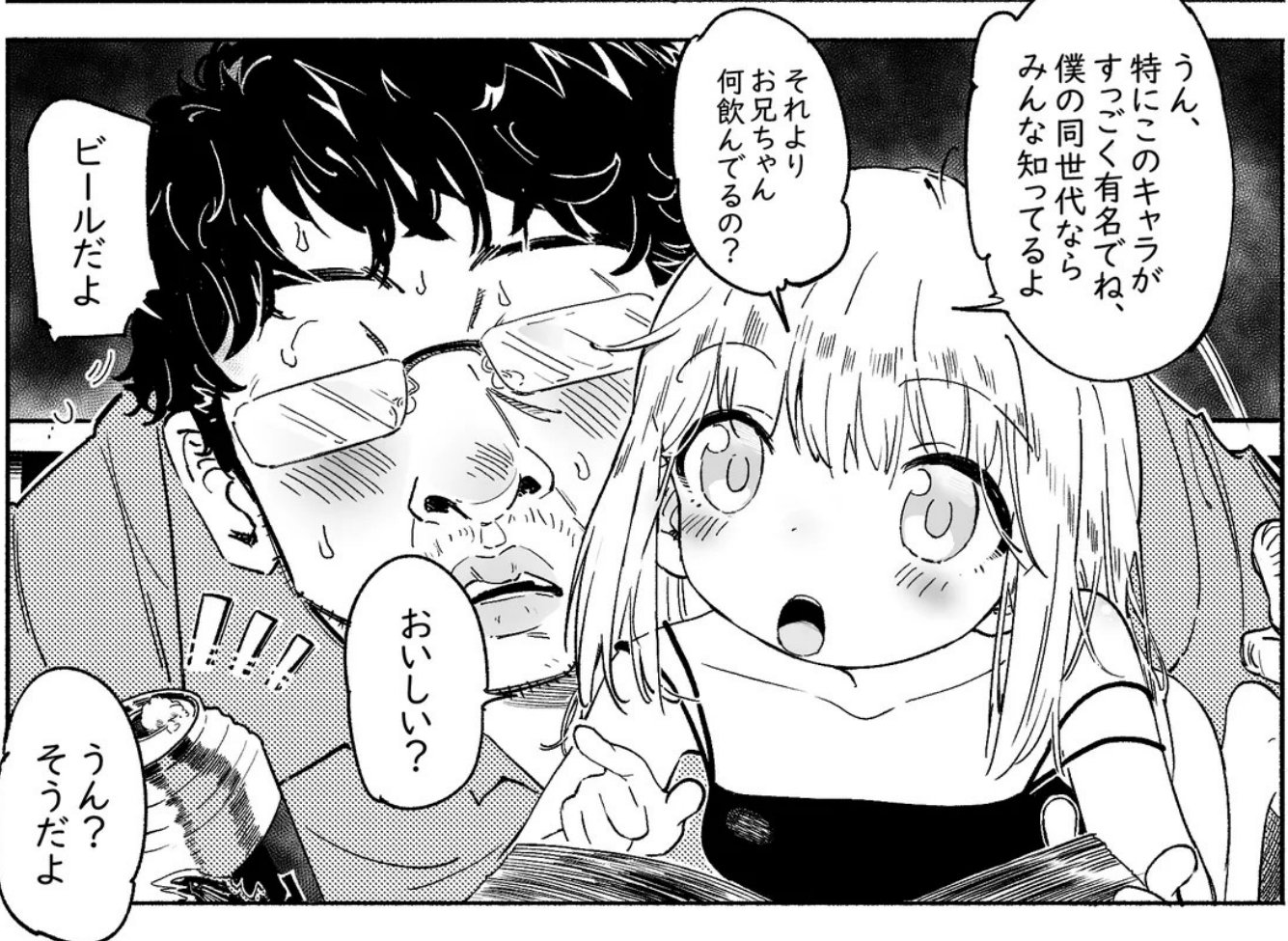
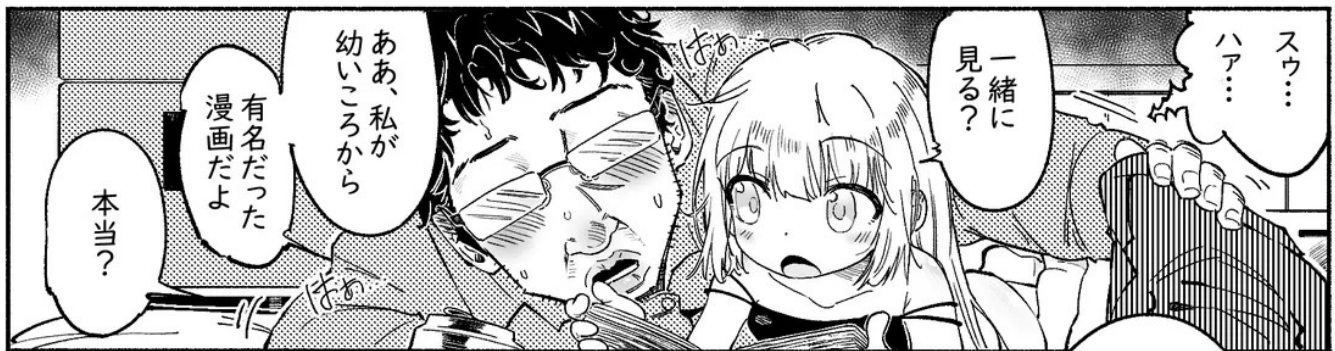
初めて
ミミちゃんを
うちに連れてきた

ミミちゃんの家だと思って
自由に使ってた
いいよ

本当!?
お兄ちゃん
大好き!





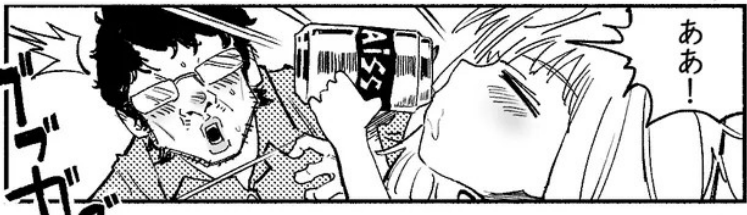




これ飲むと頭痛くなるよ?



ミミも飲んでみる!



ああ!



きゅあ〜! おいしい!

なんか苦いけどウマイよ!



気持ちいいな...



とろろで...



好きだ！
ミニちゃんの
ことが
大好き！

オッ

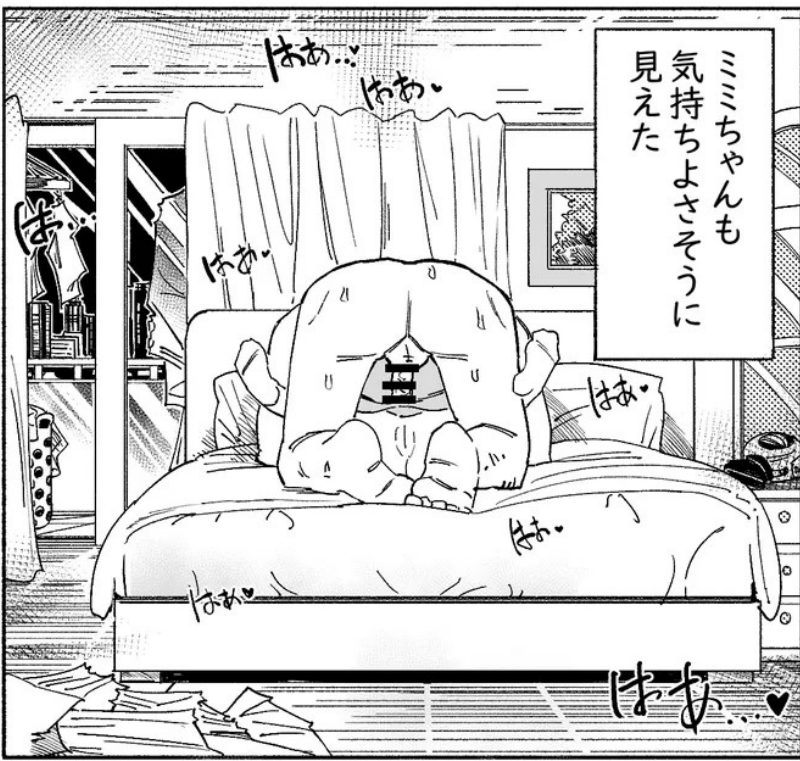


僕の愛を受け止めて！



お兄ちゃんの口から
ビールの味がする...

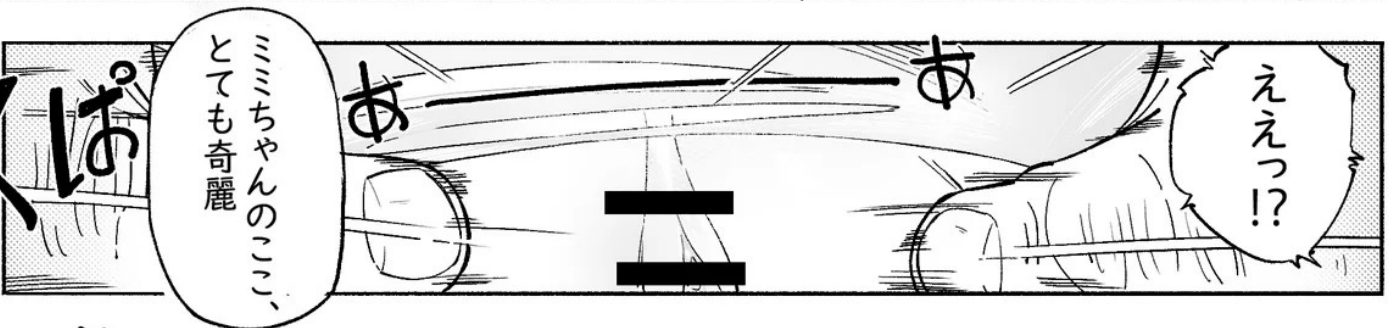
おっしっ...♡



ミミちゃんも
気持ちよさそうに
見えた



僕とミミちゃんは
親しくなり、



ミミちゃんのこと
とても奇麗

ええっ!?



もう
我慢できない



僕は
何回もキスをし、
ミミちゃんからの
キスももらえた

おろろ

おろろ

じゃあ…

おろろ

おろろ

おろろ

お兄ちゃんのこと…して
いいよ…

おろろ

おろろ

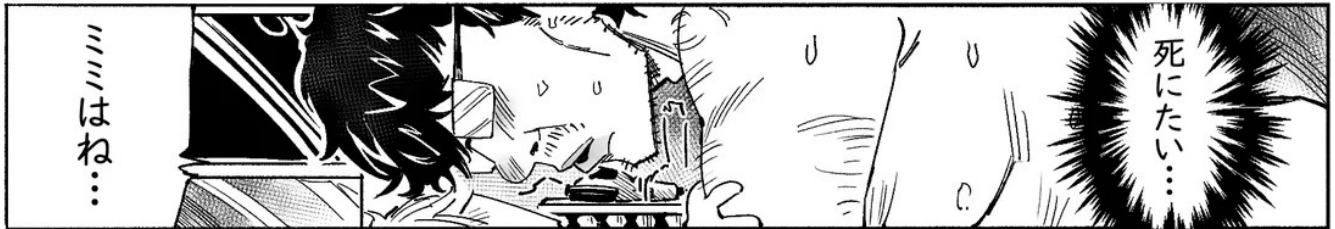
おろろ

おろろ











やめて…

そんなこと
言ったら僕が
なんになる…!



すっかりしろ
弱気になっち
やダメだ!



そんなことで
僕がミニちゃんを
嫌いになるわけ
がないじゃない!

ミニちゃん、
僕がそんなに
みつともない!?

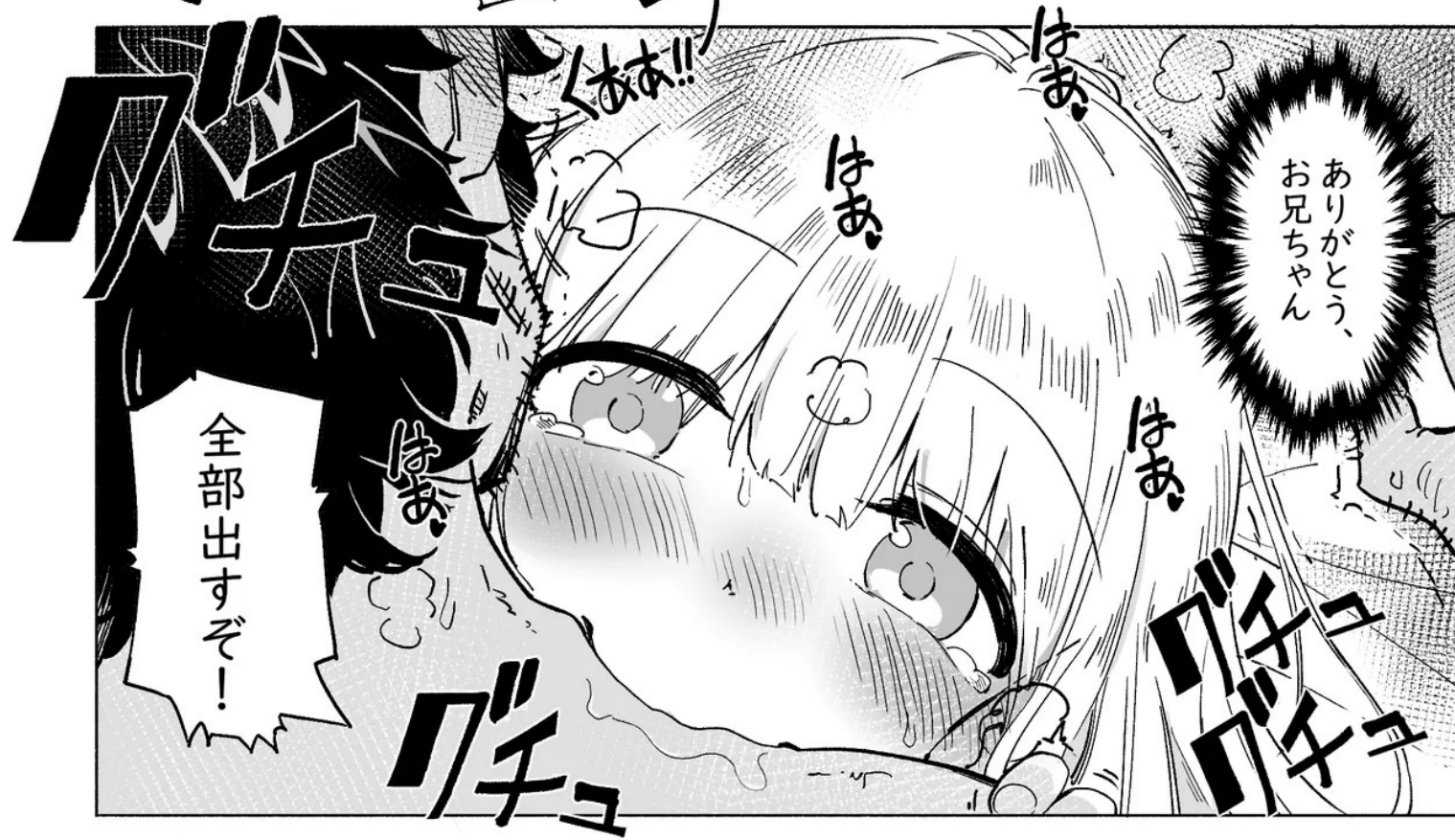


ミニちゃんは
僕のモノだ!

一生守って
あげる!



射精そう！
ミニちゃん、
僕の子種を
受け止めてね！



全部出すぞ！

ありがとう、
お兄ちゃん

ミニちゃんを
家に送らせて、

また明日〜

一人で
情けなく
泣き続けた





ミニちゃんを
疑った僕が
バカみたいで



頑張つて
ミニちゃんを
守りたいと

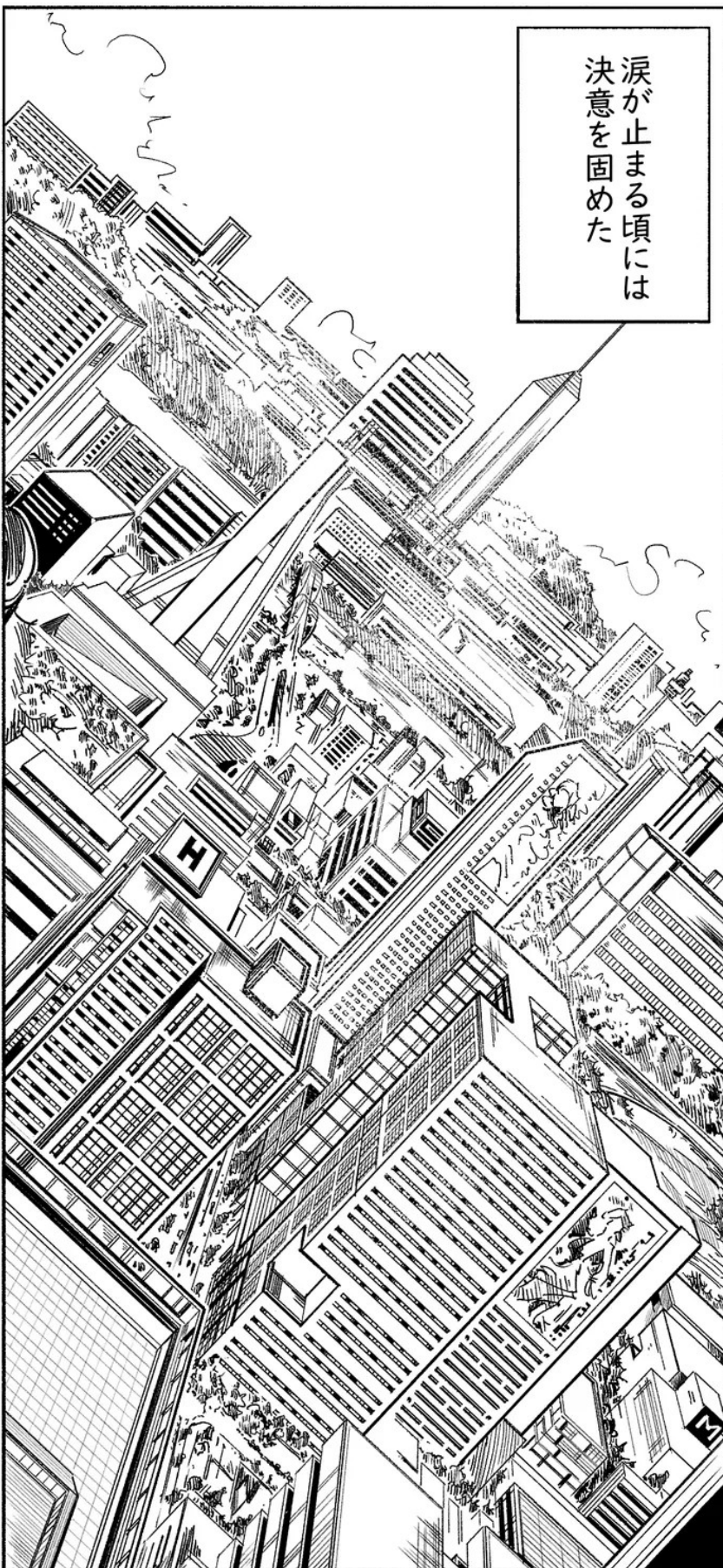
僕は
もう迷わない



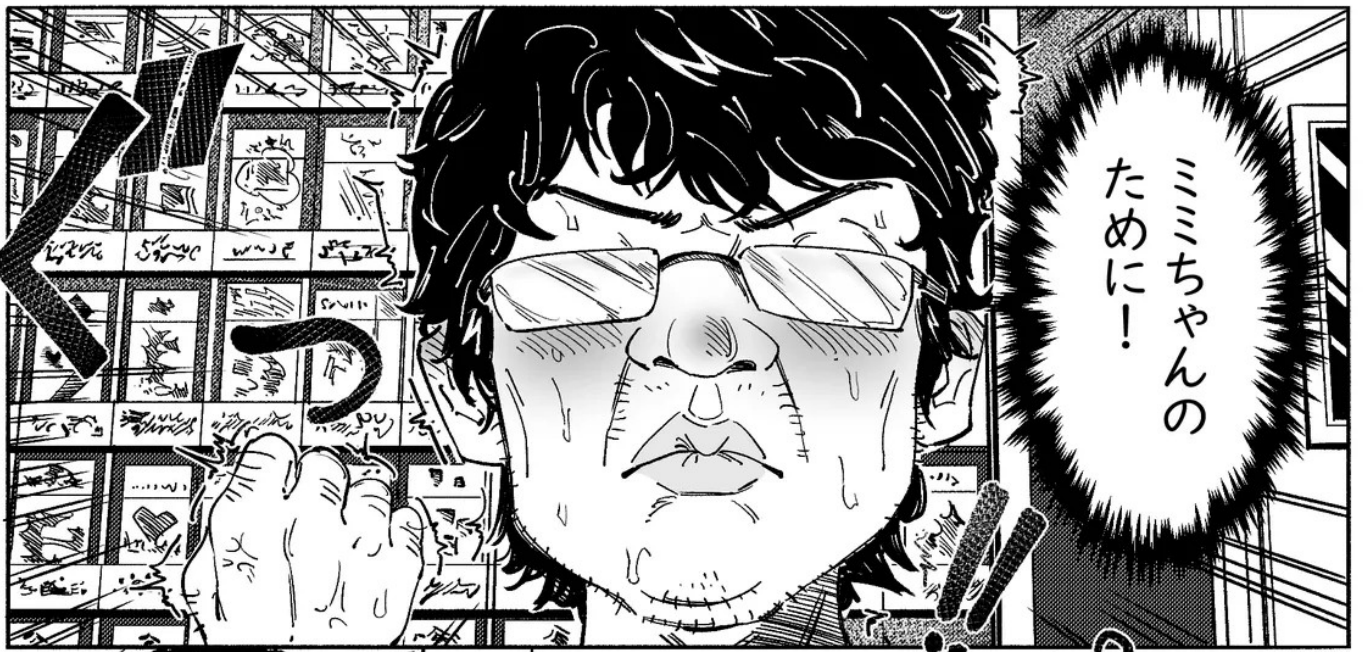
ただ…

ありがとうございます！

ただ進むだけ



涙が止まる頃には
決意を固めた



ミミちゃんの
ために!

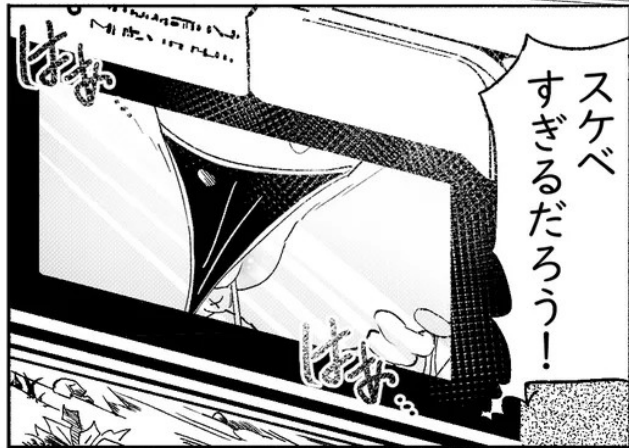


ミミちゃん、
手を上げて!

今日買った
ノックレス
¥1450

うんっ...!!

ゴウ
ゴウ

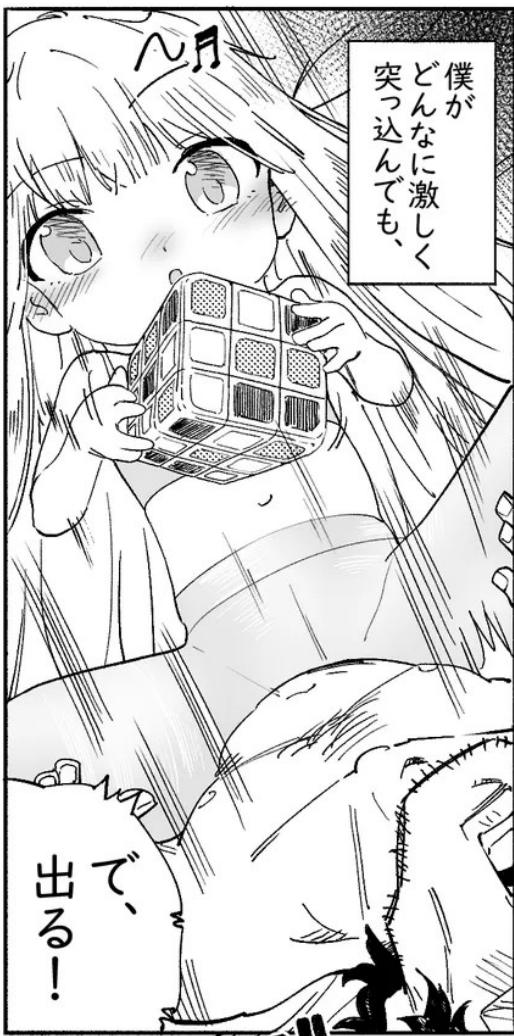




毎日のように
セックスした

色んな体位も
試したり





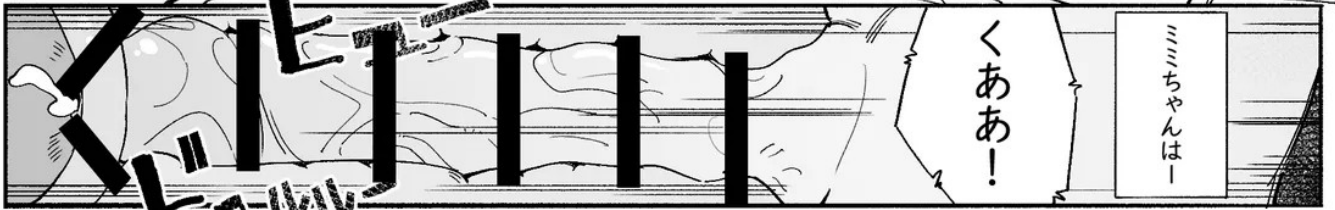
僕が
どんなに激しく
突っ込んでも、

で、
出る！



え...?
ドラゴンを3匹も?
ありえないよ

いつの間にか
退屈になったのか、
ミニちゃんは
他のことに目を移った



くああ！

ミニ
ちゃんはー



感じることは
なかったからー

おき
面自い

ドラゴンを3匹も

こんな無感覚な
ミミちゃんを
見ると...

はあ

はあ

はあ

この次
どうなるの、
お兄ちゃん？



何気ないように
するのあまりにも
エロかった

え!?

ぐちゅ

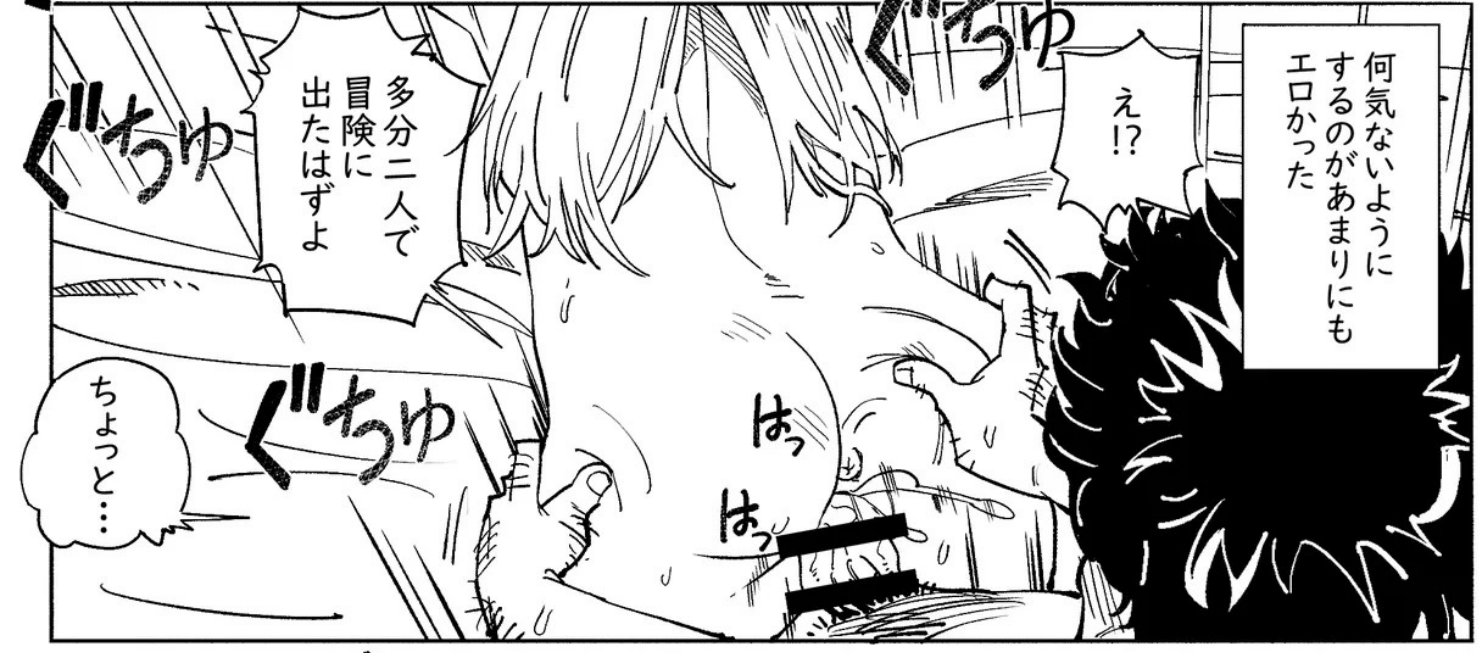
多分二人で
冒険に
出たはずよ

ぐちゅ

はっ
はっ

ちよっと...

ぐちゅ



お兄ちゃん、
優しくしてよ
揺れすぎて
読みにくい!

ぱん

ぱん

はあ

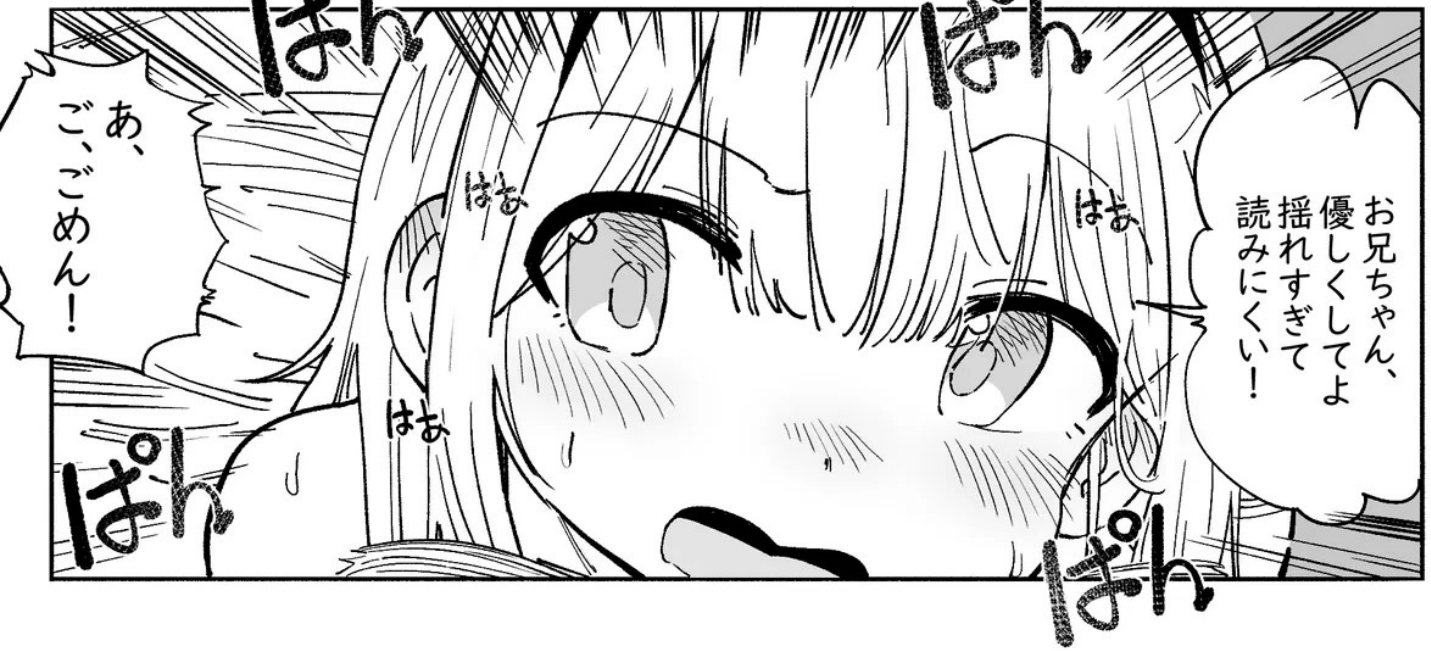
はあ

はあ

あ、
ご、ごめん!

ぱん

ぱん





くああ
ああ!



おかげで
楽になった...

ありがとうございます、
ミニちゃん

拭いて、
お兄ちゃん



ヒュオオ...

今日も
拭いてくれて
ありがとう...♡

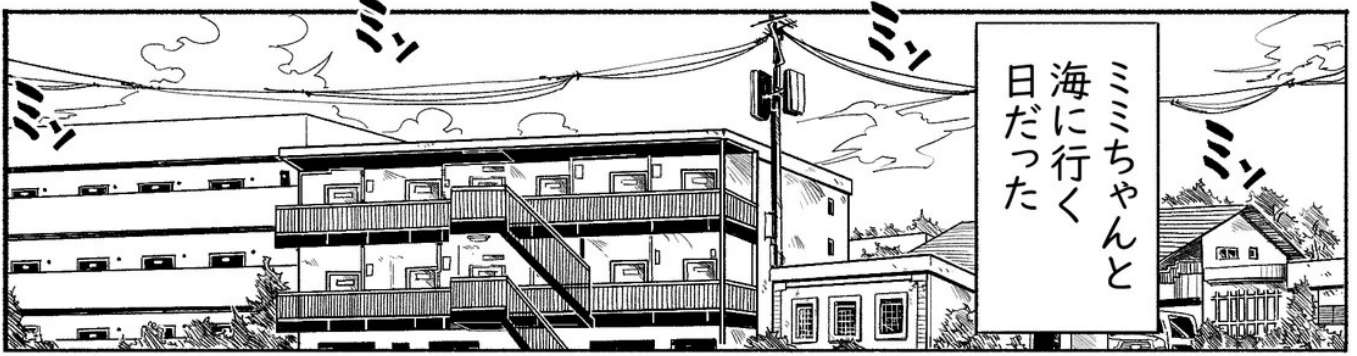
ニツユリ



そして
二日後は—

幸せだな





ミミちゃん
と海に行く
日だった



海でナニを
しようかって
想像するだけで

ミミちゃんと海！
よっしゃ！



7月21日の
朝に出る
約束をし：

	火	水	木	金	土
		1	2	3	4
		7	8	9	10
		13	14	15	16
		20	21	22	23



全部
お前のせいだよ！
分かってんのか!?

しかしー

そうやって
すぐ酒ばっかり
飲んじゃうんだから！



うるさい！
お前に
何がわかる！

言ったわね!?

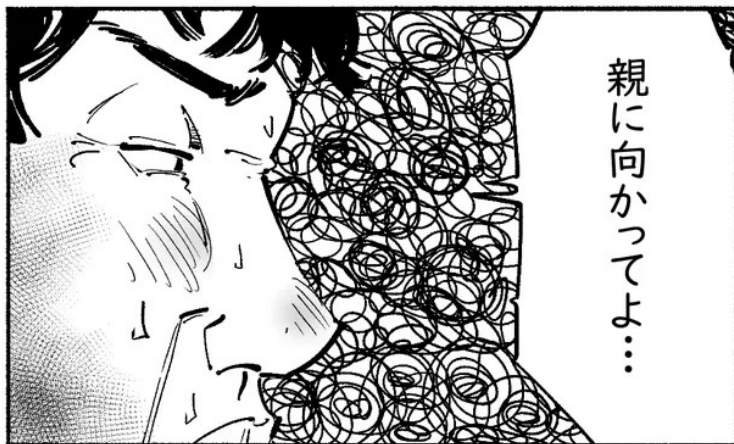
お帰りなさい、
ママ、パパ







ママを
いじめるな！



親に向かってよ…



お父さんに
歯向かうのか？



どけ！
やかましい！

いや！
いやだよ！



舐めんのかよ！



ハナちゃんに
手出すなよ!
殺すわよ!

本当に
殺すわよ...

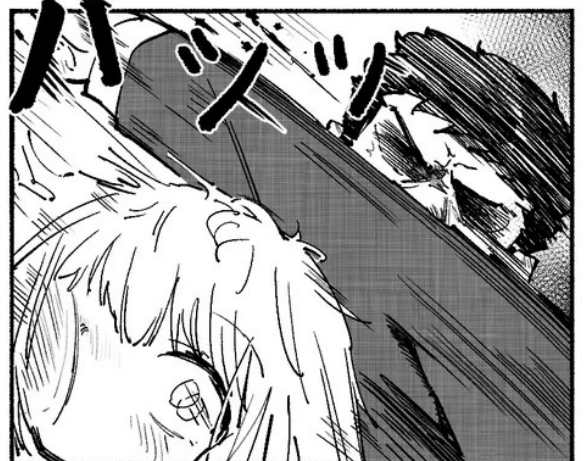


ママを
いじめないで!

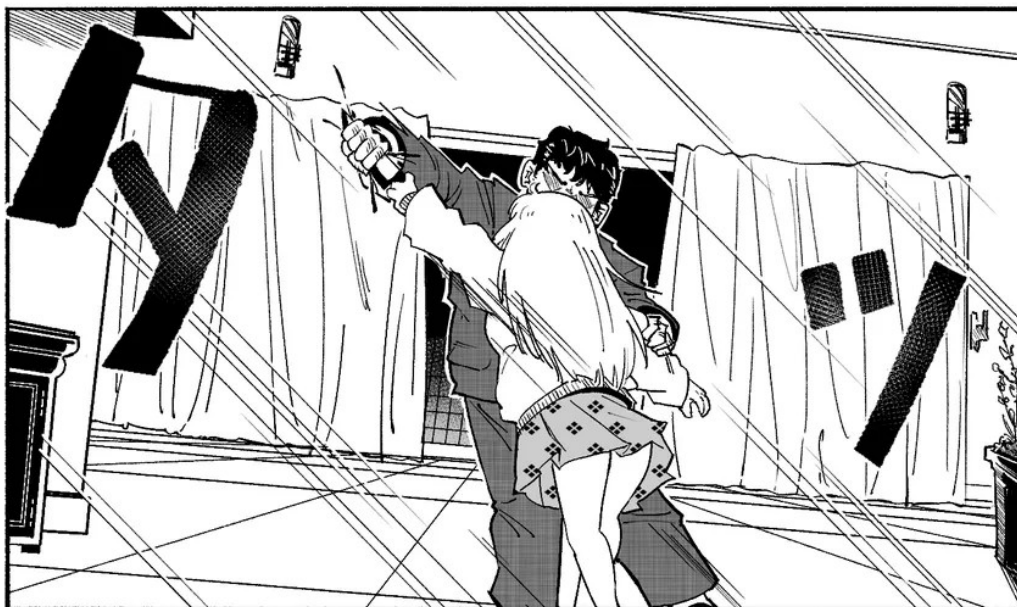
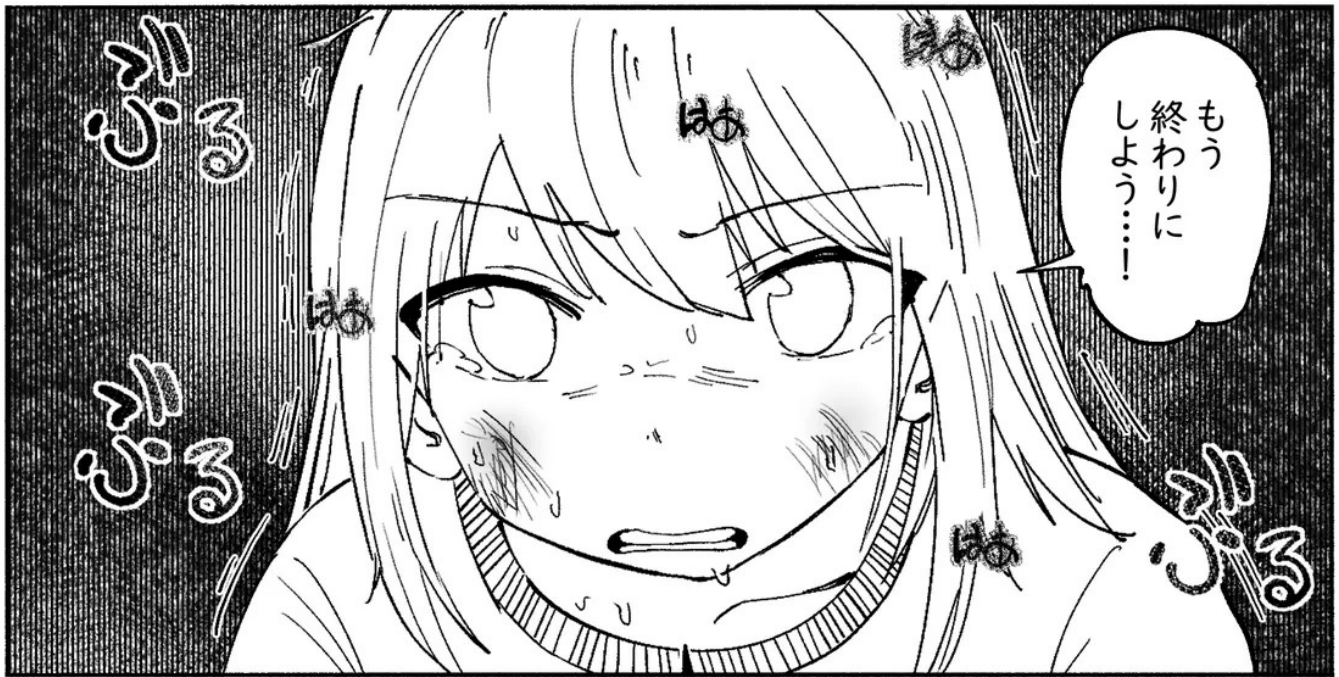
いい加減にしろよ...

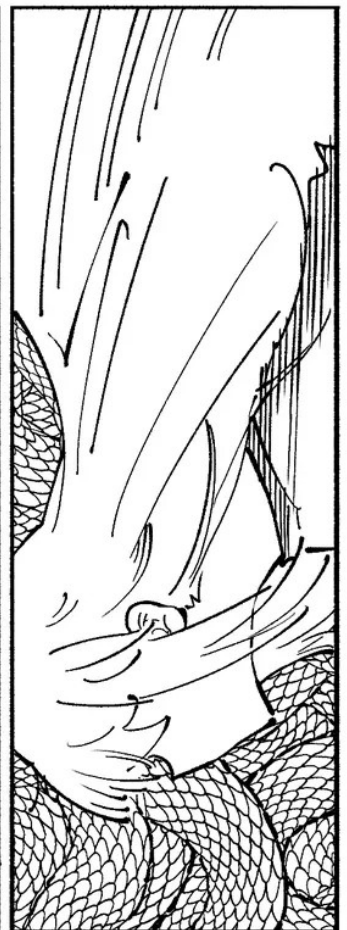


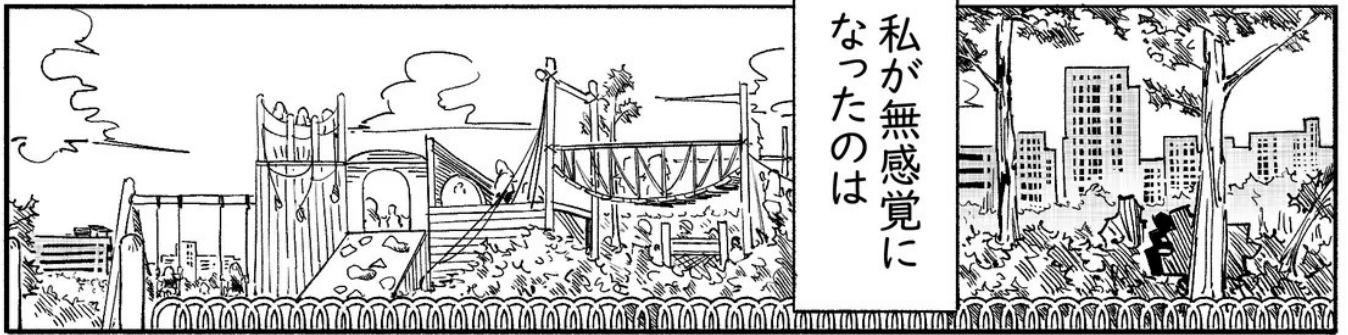
やかましい!











私が無感に
なったのは

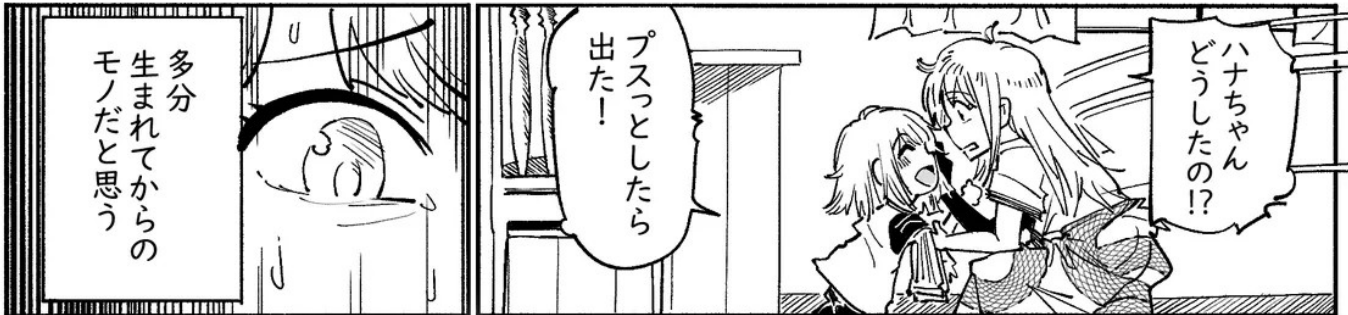


きゃー！

紅い花が
咲いたよ！



ママ、
これ見て！



ハナちゃん
どうしたの!?

プスっとしたら
出た！

多分
生まれてからの
モノだと思う



病院にも
行ったけど
私が幼いからか、

私には
詳しく教えて
くれなかった

こんな
私のせいなのか
パパとママの葛藤は
大きくなったようだ



昔には
睦ましい
家族だったのに…

あなた、
もうやめて！

パパ！
ごめんなさい！

おかん！！

おかん！！

泣いてんじゃねえよ！
痛くもないくせに！

私に暴力を
振る舞い始め…



いつの間にか

暴力の強度は
段々ひどくなり、



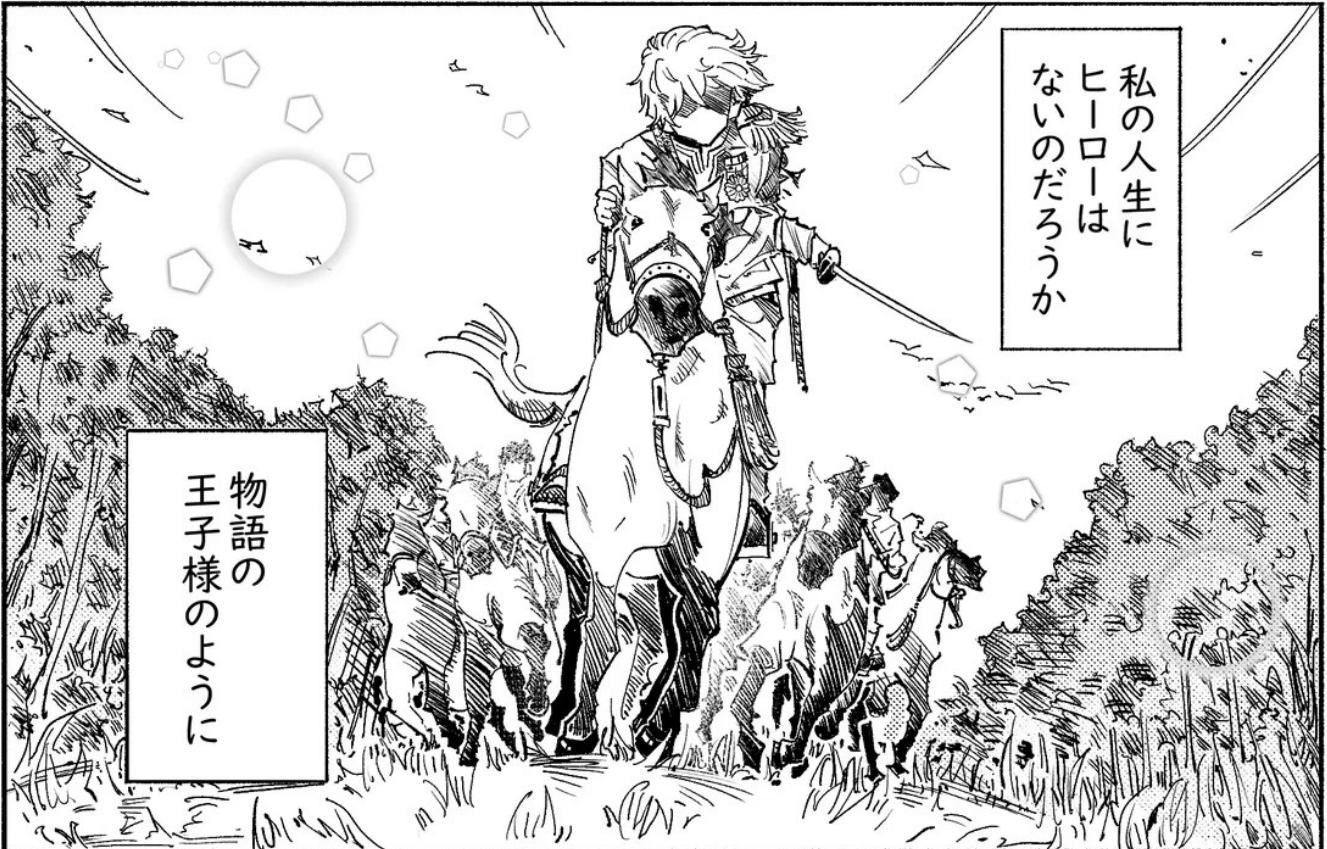
完全に
歪み始めた



パパとママを
苦しませたから

みんなと
違うから

ただ
死にたかった

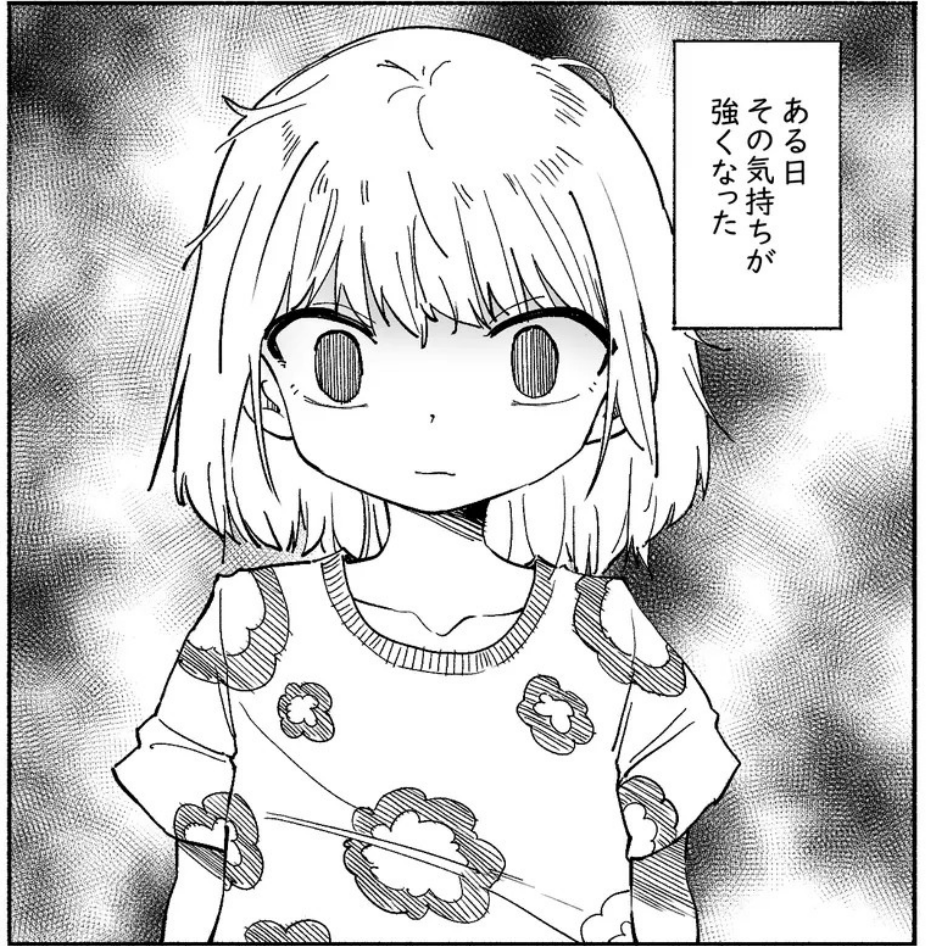


私の人生に
ヒーローは
ないのだろうか

物語の
王子様のように



お酒ばかり
飲むパパと



ある日
その気持ちが
強くなった



血まみれの
ママ



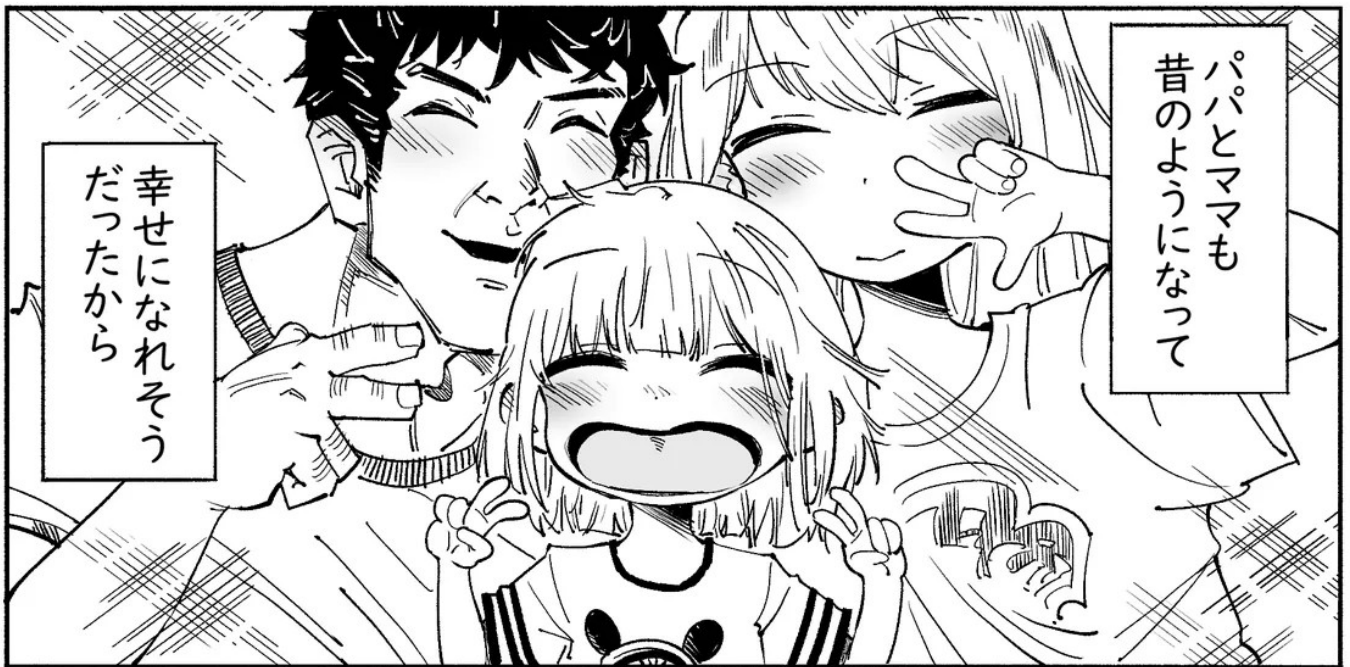
なんか
いたずらを
しなかったのかも
しれない

初めて
最後に

なんか
こうすると



感覚が戻ってきて



幸せになれそう
だったから

パパとママも
昔のようになつて



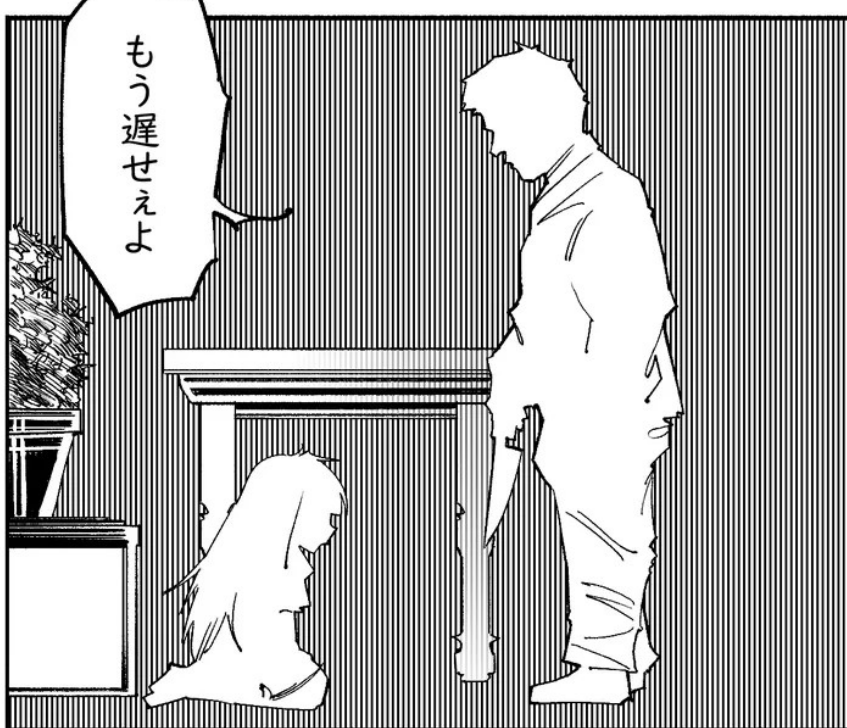
今は
すごく痛い

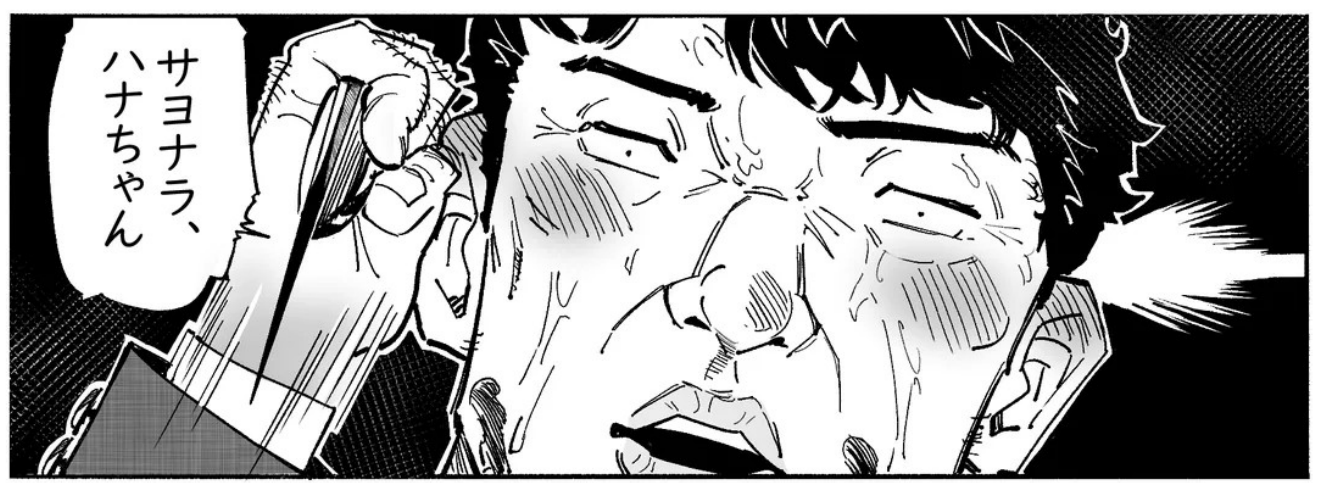


なのにー

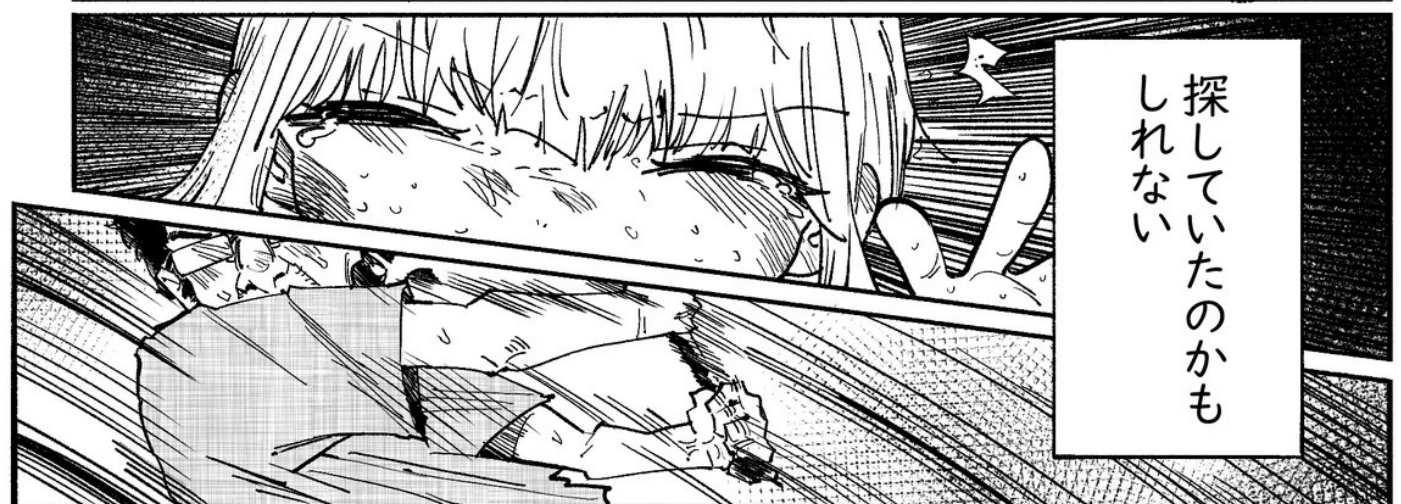


はっ
はっ
はっ






サヨナラ、
ハナちゃん

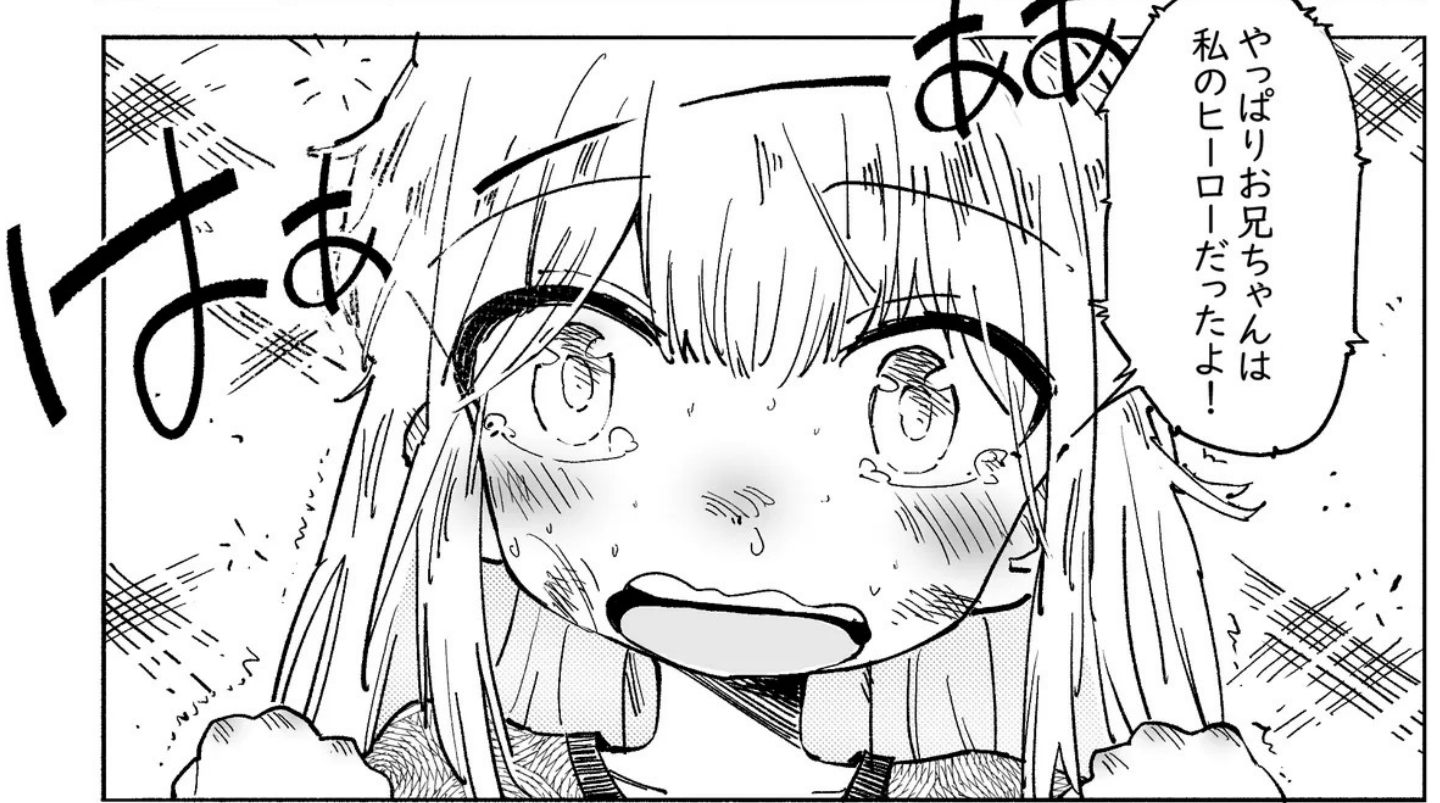


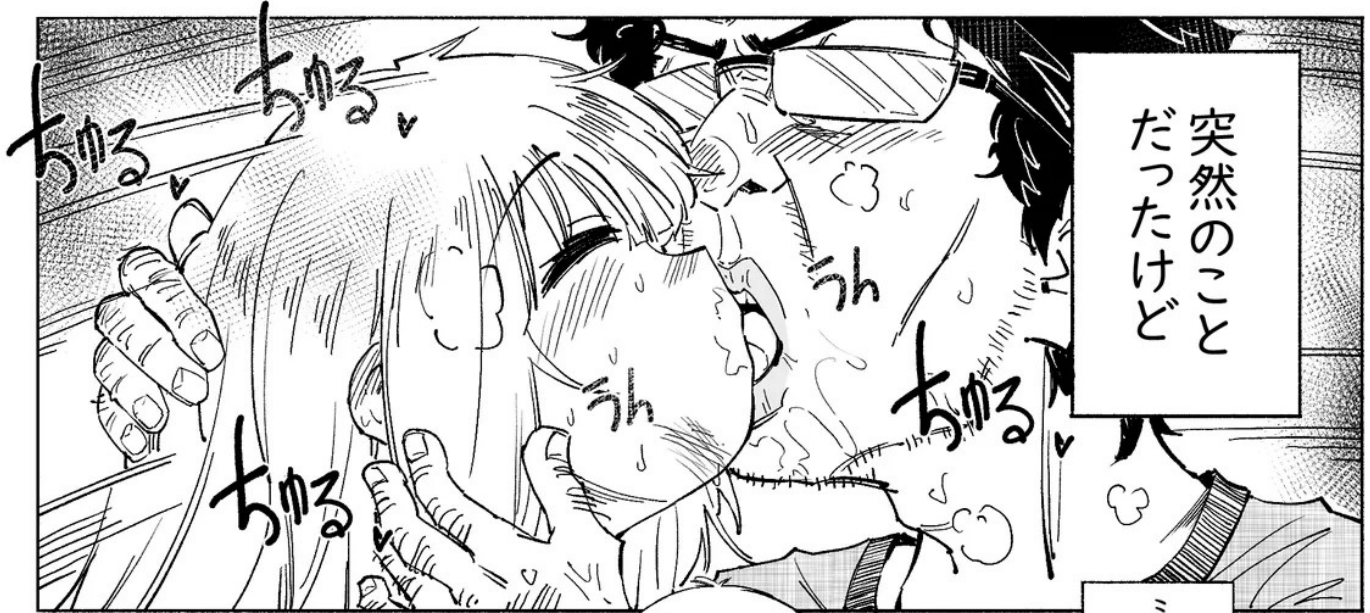
探していたのかも
しれない



私だけの
ヒーローを—

ミニちゃん!





突然のこと
だったけど



ミニちゃんも



同じことを
考えてる
ようだった



ズボン…
邪魔…!



感じる…



もう…!!
ちゅうちゅ



何故かわからないけど
さつきから
感じられる…

感じるって…?

うん

ま、マジで!?



お兄ちゃん
とやれば…

うん

はっ





ぎゅっ

はあ
はあ
はあ

痛いよ...

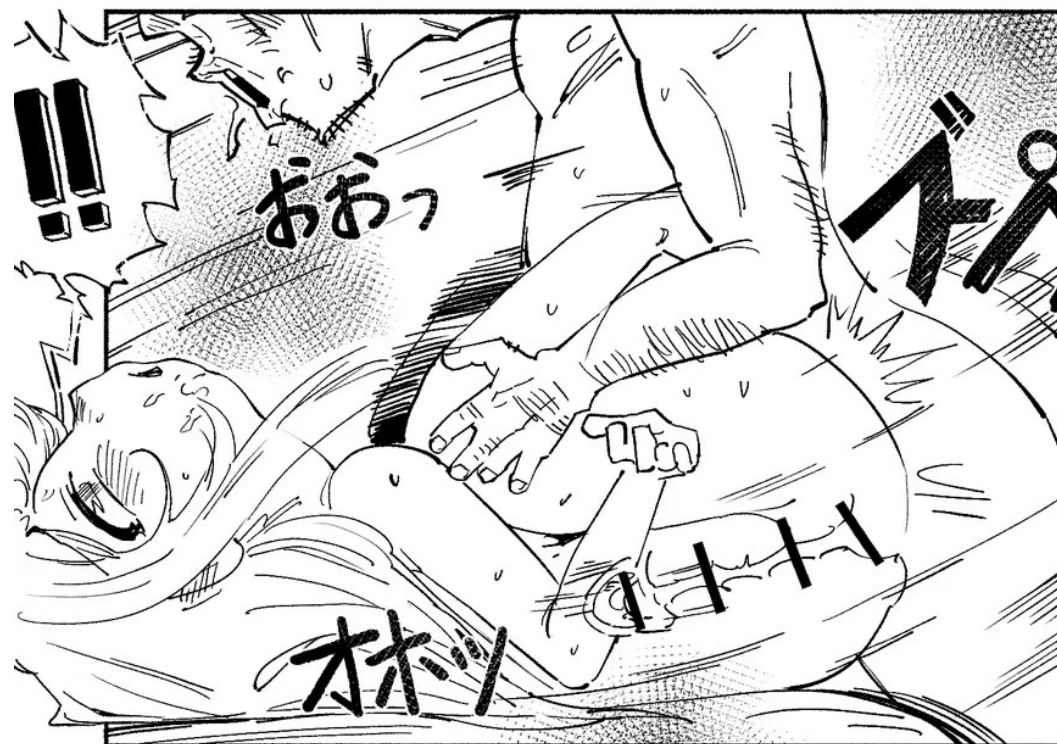
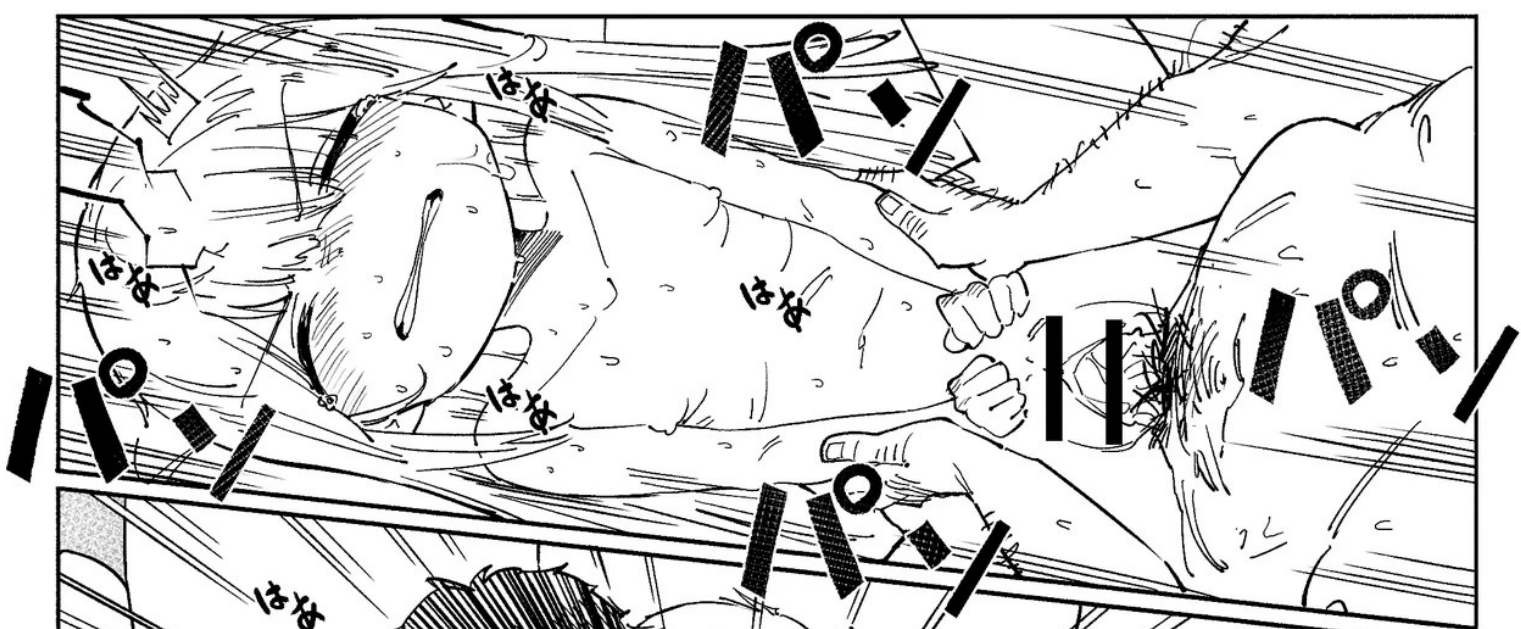
お、奥まで
入った...

194

くっくっ

ビクッ







初めての
体位なのに…
奥まで入って来たよ…
気持ちいい!



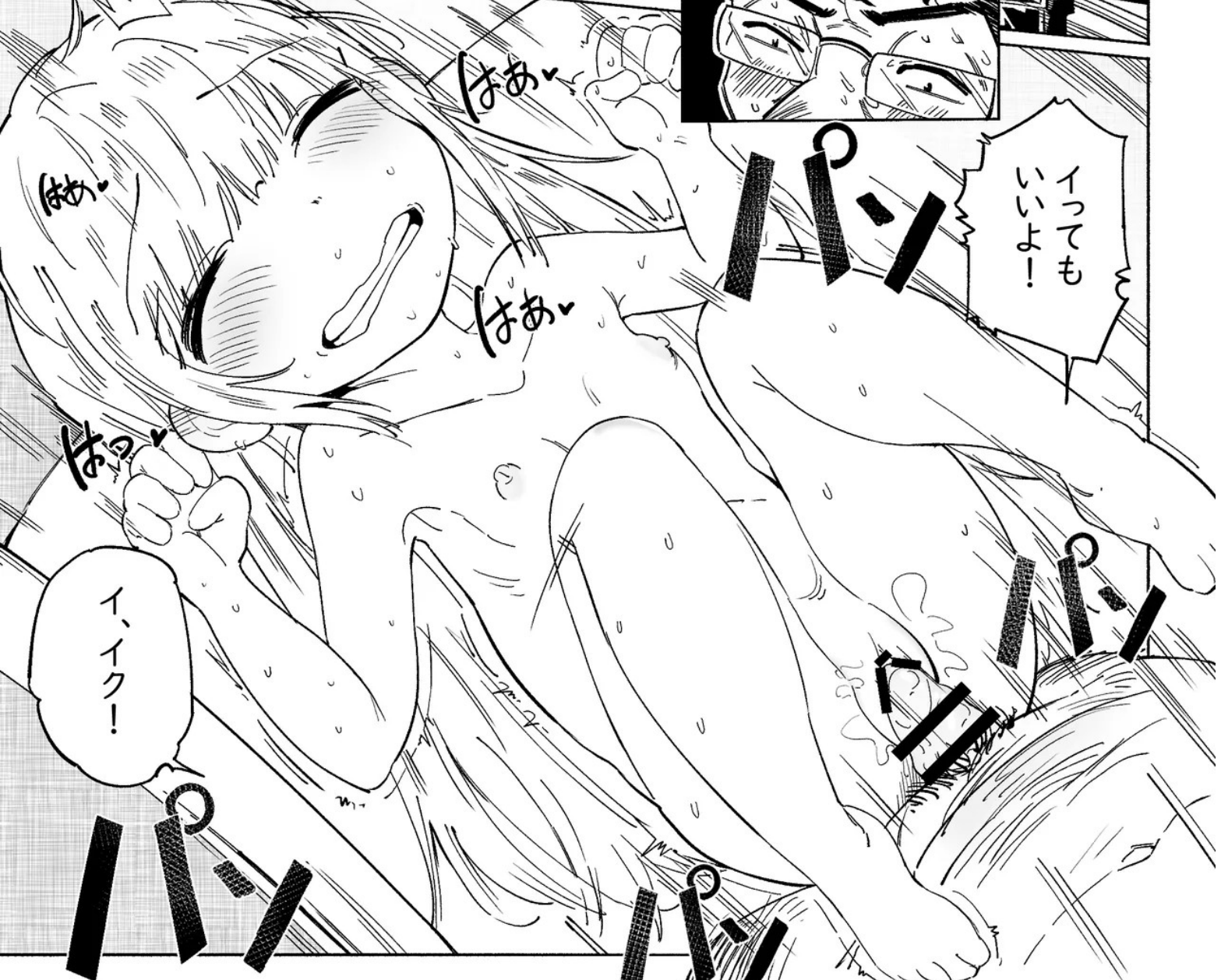
はっ!?
し、子宮に
当たった!



い、イキ
そう!

ギンギン

すごい
締め付け
だよ!



イっても
いいよ!

イ、イク!





哀願する
ミミちゃん、
初めて見たよ!

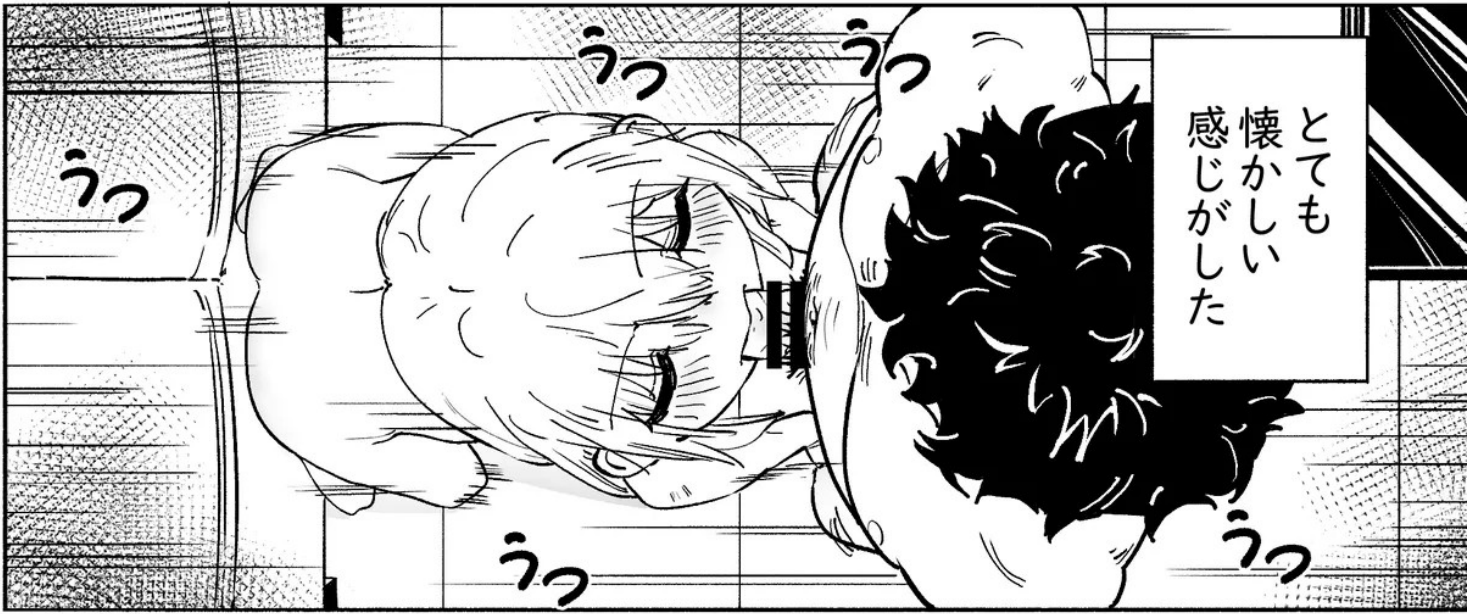
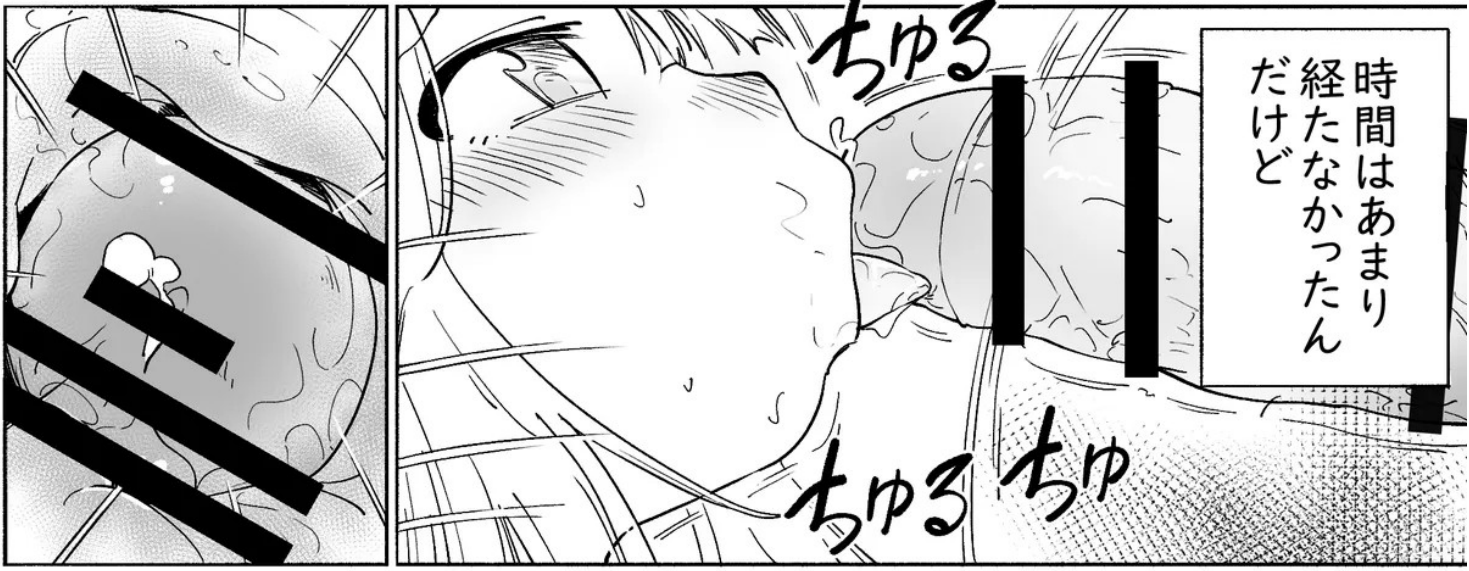
ゆっくり、
ゆっくり...!



またイク!



出る!
出る!
出る!!
出るっ!



もちろん、
ミミちゃんは
僕のモノだから

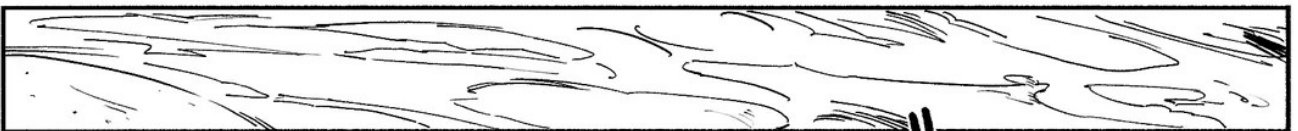
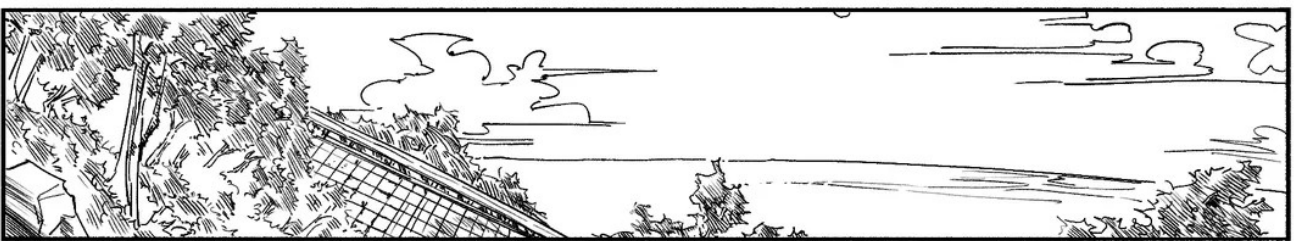
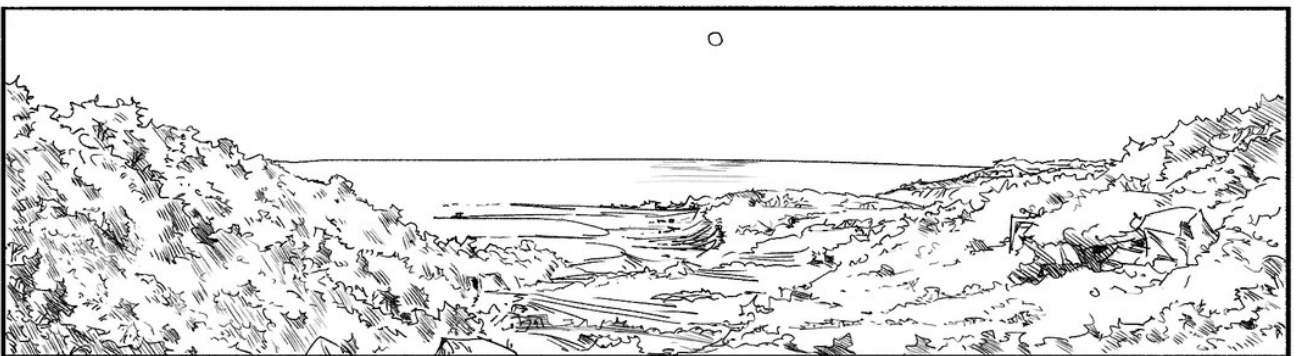
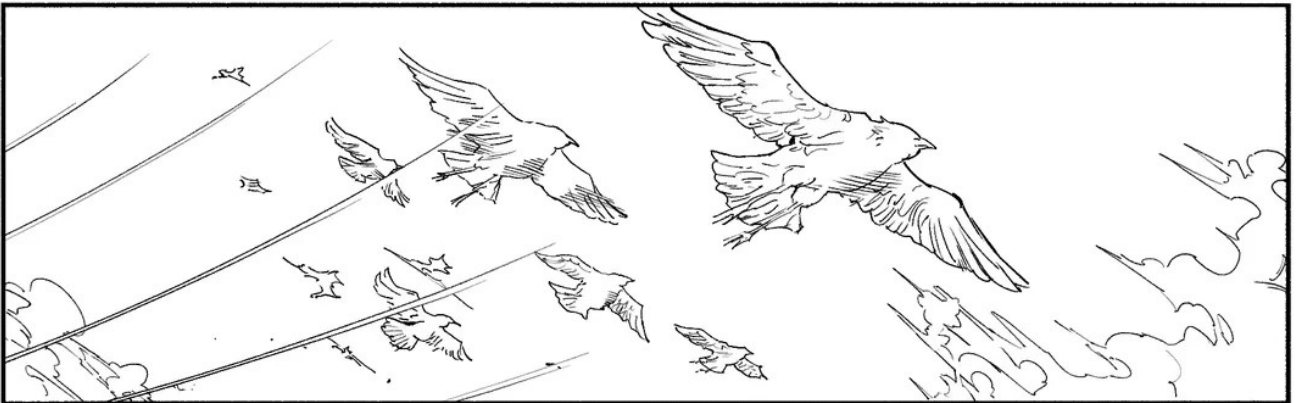
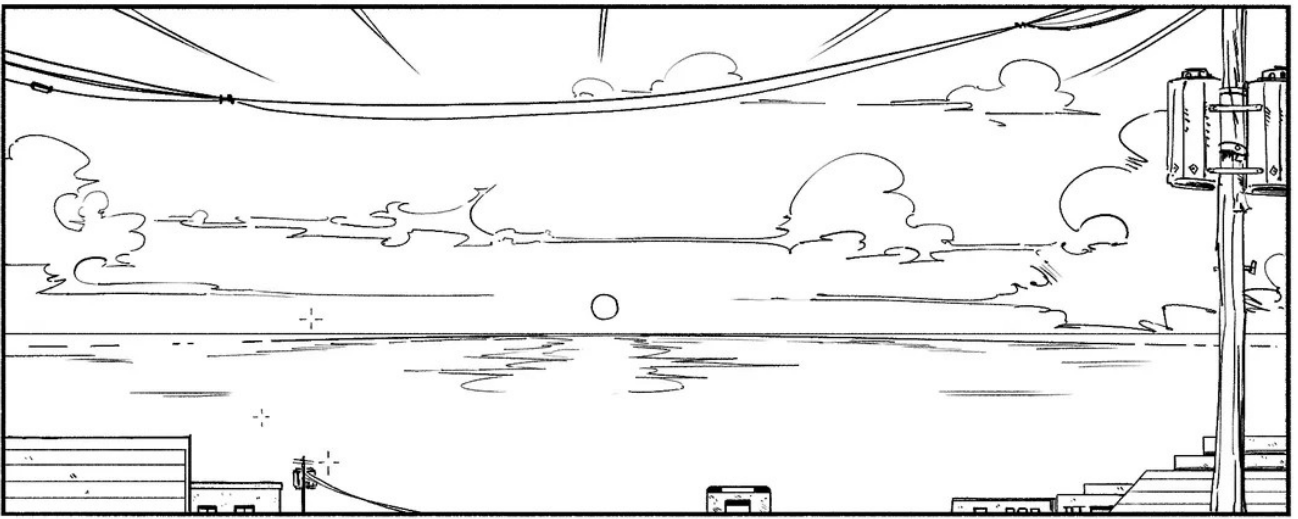
ばあ

ああ

僕が幸せに
してあげる！

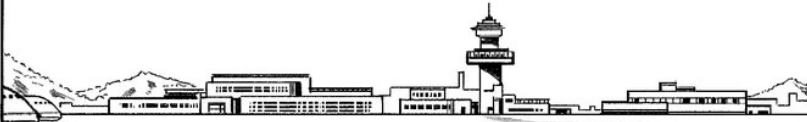
きゅっ





その後、
僕たちは僕たちを
縛つてるものから
逃げるように

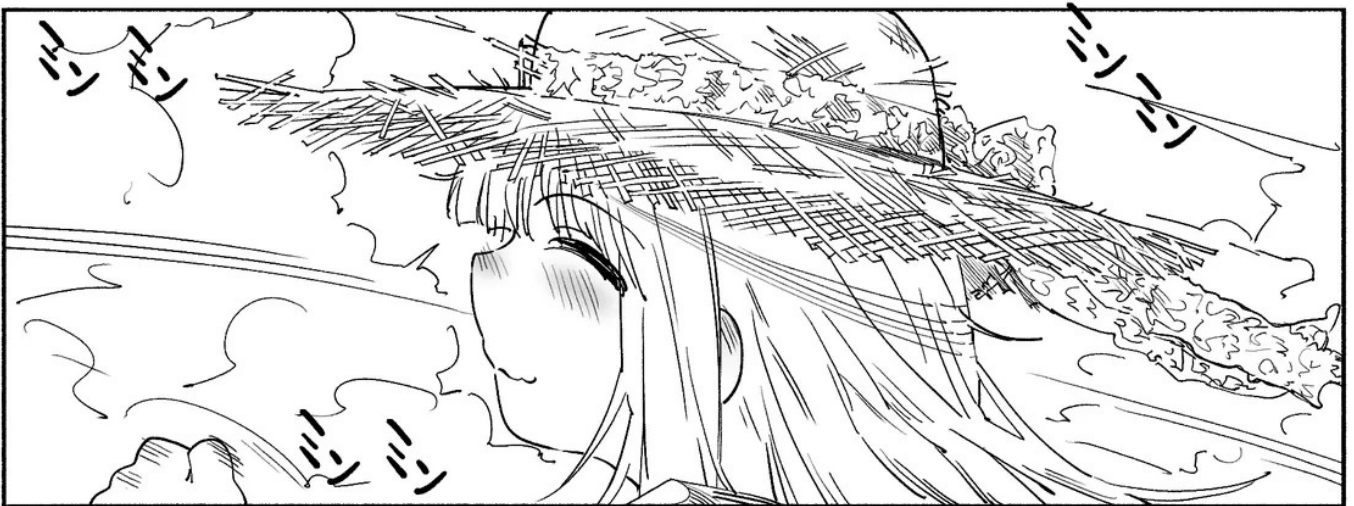
どこかも
わからないところまで
来てしまった



僕は不安だったけど、
ミミちゃんは
むしろ幸せそうだった

これ
おいしいね

ズワ
ズワ

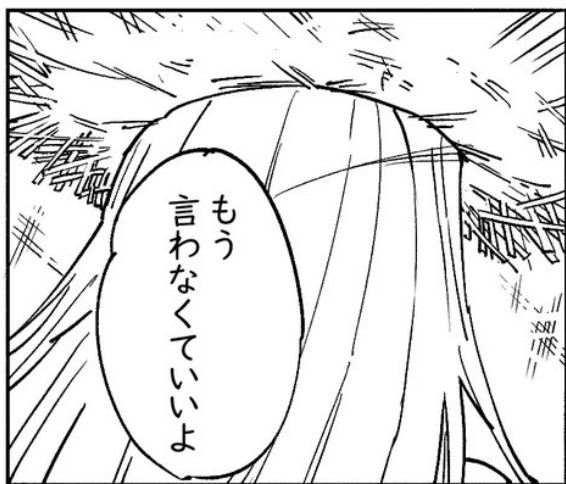


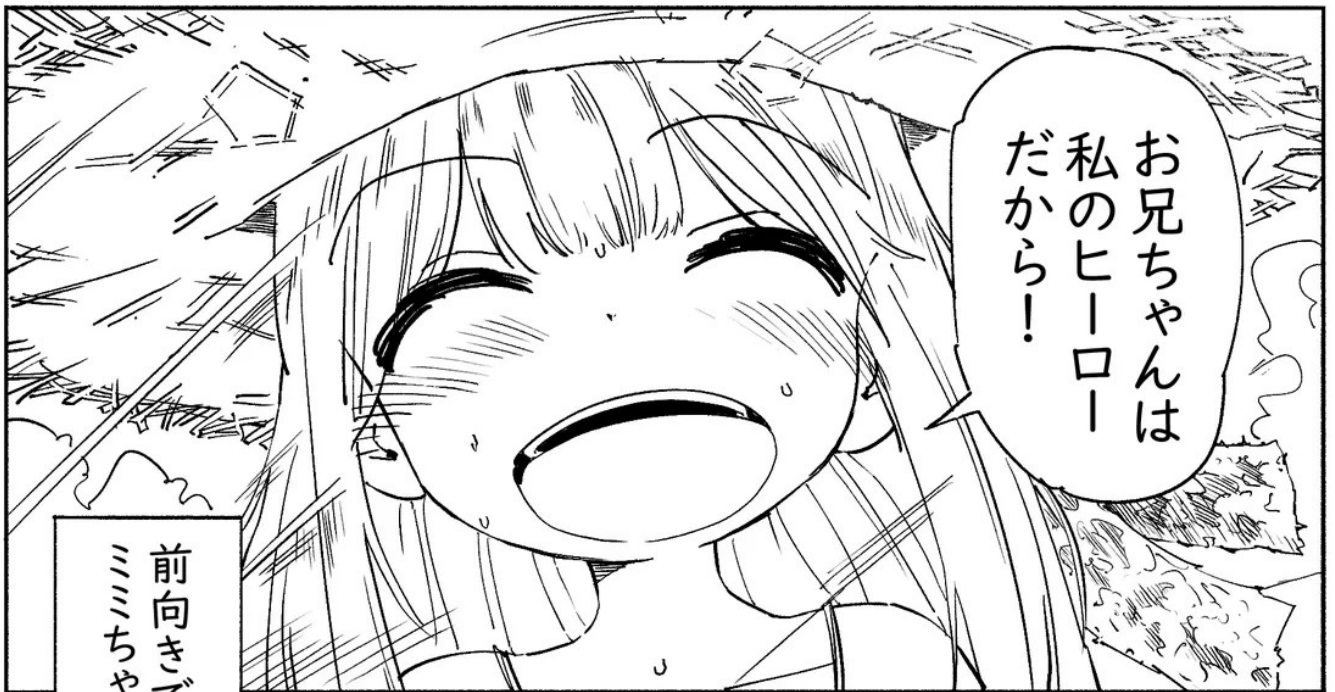
ミミちゃんは
怖くない?

何が?

ズワ
ズワ







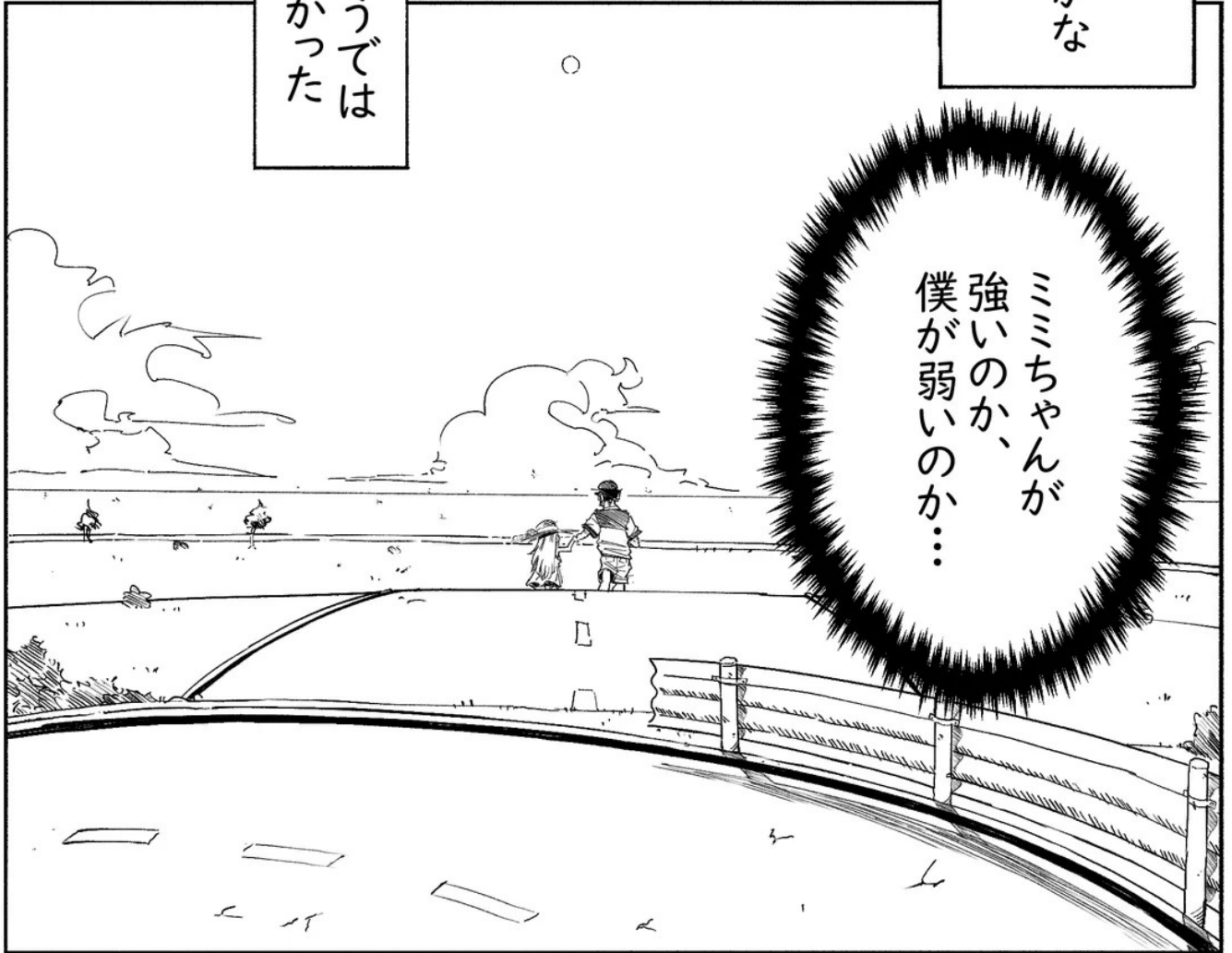
お兄ちゃんは
私のヒーロー
だから！

前向きで明るい
ミミちゃんを見て

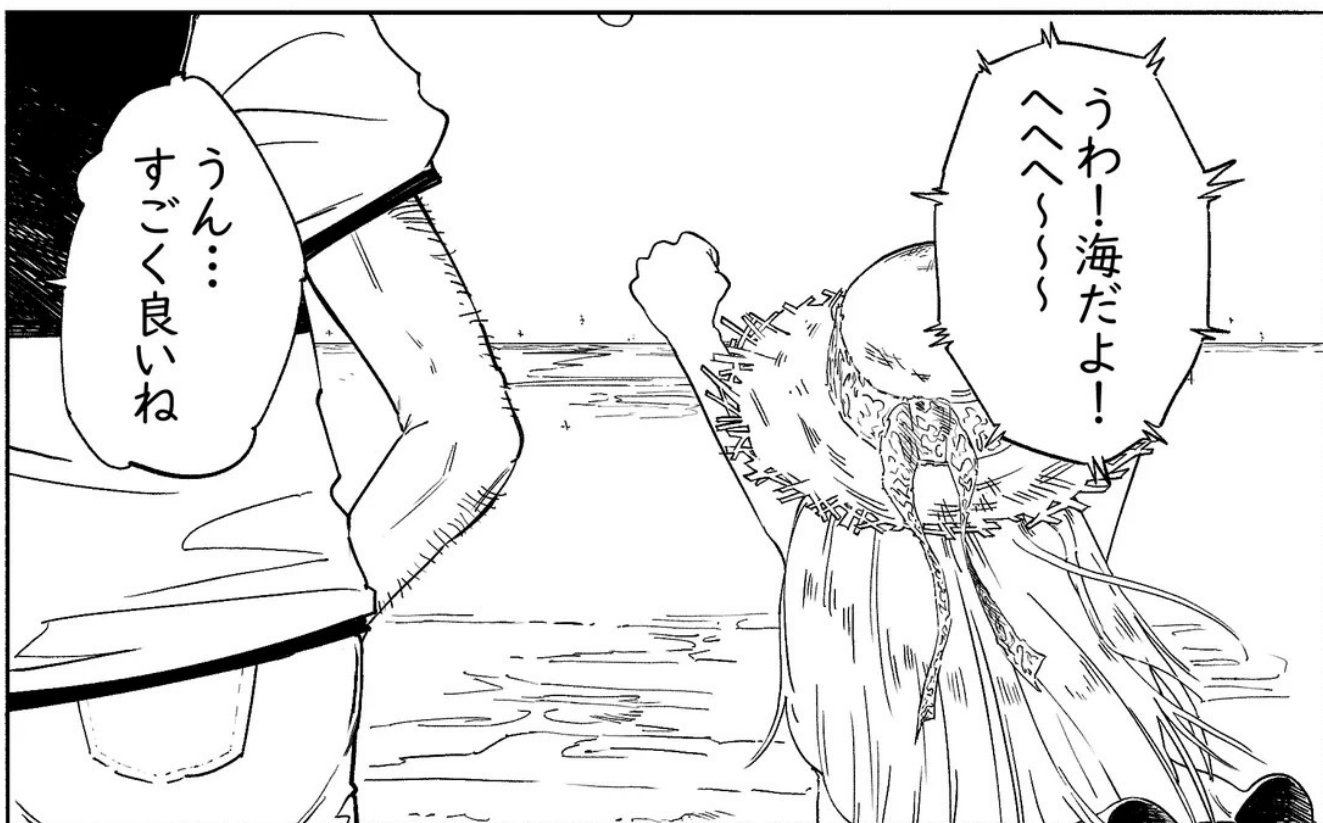


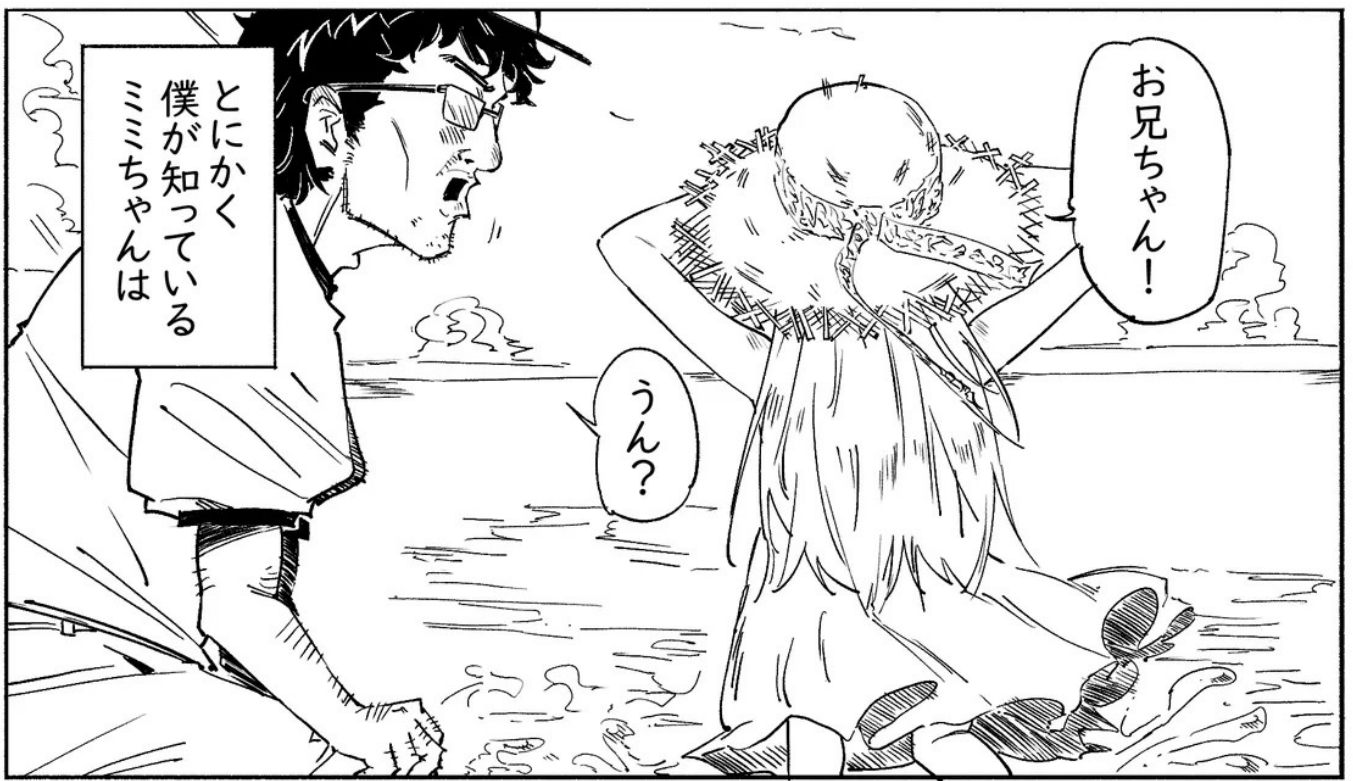
僕が現実に
縛りすぎたのかな
思ったけど、

そうでは
なかった



ミミちゃんが
強いのか、
僕が弱いのか…





とにかく
僕が知っている
ミミちゃんは

お兄ちゃん！

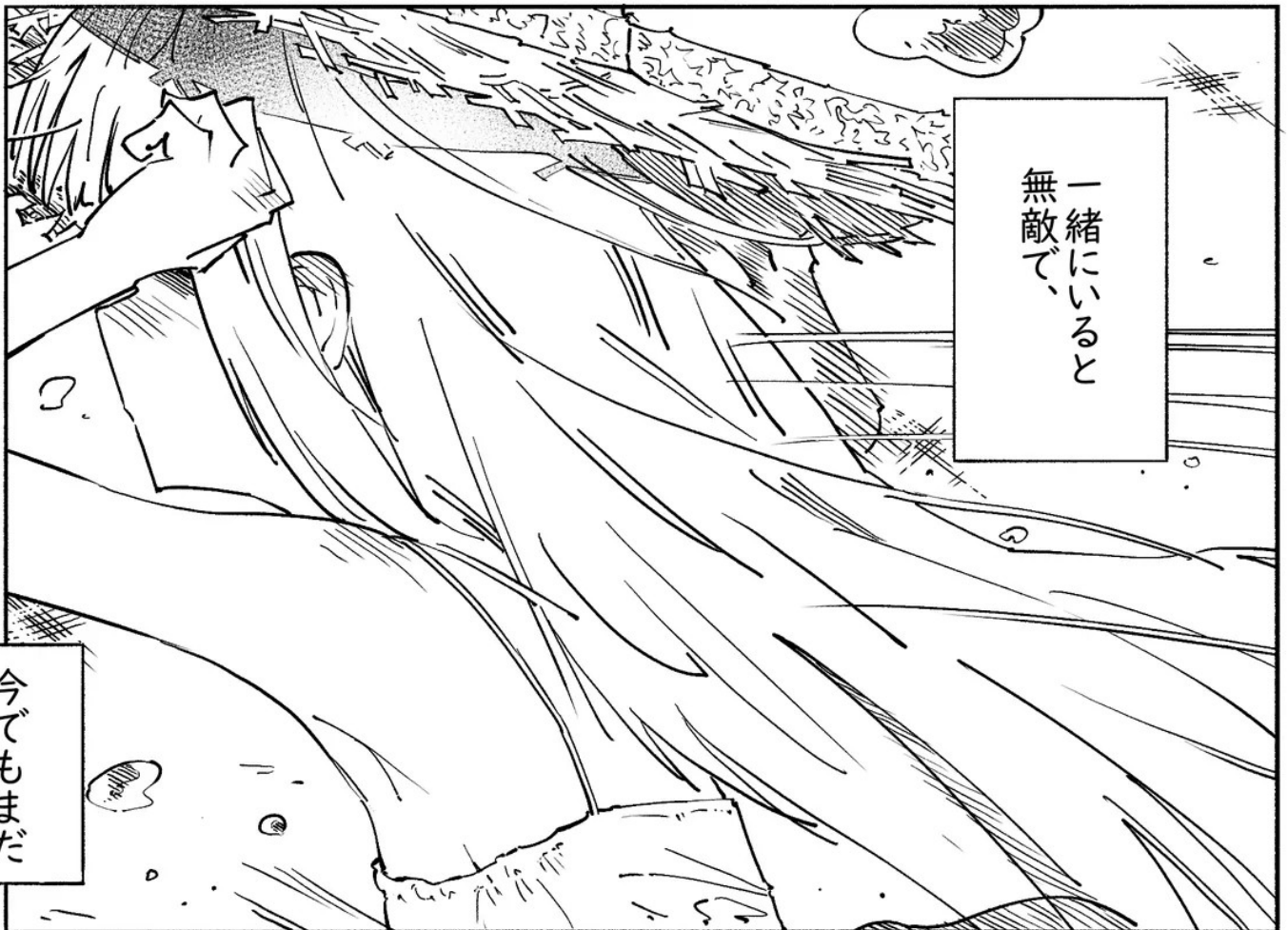
うん？



僕が生きる
意味であり

…ああ！

これから
どうするか
考えてみよう！



一緒にいると
無敵で、

今でもまだ



無感覚症だ